9784088747255
1929979004002
ISBN978-4-08-874725-5
C9979 ¥400E
定価 本体400円十税
雑誌 43089－25

Dioの持つ「左眼球部」を奪い、遺体に関わる者全てを始末するべく動き出した大統領。その突然の襲撃を受けたDioとウェカピポは、手を組まざるを得ない状況に。未だ見えぬ大統領のスタンド能力、その正体とは…!?

ジャンプ・コミックス

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険 Part7

STEEL BALL RUN

涙の乗車券(チケット・ゥ・ライド) vol.18

ARAKI HIROHIKO

& LUCKY LAND COMMUNICATIONS

ジャイロ・ツェペリ

ネアポリス王国の法務官。不思議な鉄球を、自在に操る特殊能力を持つ。国家反逆罪で捕まった幼い少年・マルコの無罪を信じ、彼を救う手段である「国王の恩赦」を得る為、レースに参加。

ジョニィ・ジョースター

元天才騎手だが、慢心から半身不随となる。ジャイロの鉄球の力に希望を見出し、秘密を知る為、レースに参加。

ファニー・ヴァレンタイン

第23代アメリカ合衆国大統領。ＳＢＲレースを利用して、遺体を集めようとしている。ジャイロ達が遺体の一部を所有している事を知り、テロリストを送り込む。「頭」「左眼」以外の全ての遺体を持つ。

1st.STAGE、1着でゴールするも走行妨害によるペナルティで1位を逃したジャイロは、勝利を確実にする為、ジョニィと協力関係を結ぶ事に。続く2nd.STAGE、アリゾナ砂漠を突っ切るジャイロ達の前に突如テロリスト達が立ちはだかった！戦いの末、彼等の狙いがレース中、ジョニィの左腕に取り憑いた『ミイラ化した左腕』である事を知る。
なんとＳＢＲレースは、大統領の陰謀により、アメリカ中に散らばったある人物の遺体を集める為のレースであった！その遺体を全て集めた者は真の『力』と『永遠の王国』を手にする事が出来るという…。遺体の力でスタンド能力を身につけたジョニィは、その力に希望を感じ、残る遺体を集める事を決意。遺体争奪戦が幕を明けた！
8th.STAGE開始直後、フィラデルフィアの街でDioとその跡を追うウェカピポを発見したジャイロ達。Dioの持つ『左眼球部』を狙い、ハサミ撃ちにするべくひとりになったジャイロに、大統領とその刺客ディ・ス・コが迫る！ その時、ジョニィもまた何者かに襲われ、銃撃されてしまった…!!

"STEEL BALL RUN" RACE

全行程中にニューヨークを含め9か所のチェックポイントを設定。そこでレース順位、走行タイム、不正行為を確認する。そして各チェックポイント間のレースを『STAGE』と呼び、STAGEごとにトップ通過者には賞金とタイムボーナスが与えられる！

意のままに物を落下させるスタンド使いのディ・ス・コを倒したジャイロ。だが、すでに大統領の姿はなく、重傷を負ったジョニィは下水溝の中へと逃げた後だった。目撃者の証言から、ジャイロは銃撃した犯人を追う！
その頃、Dioとウェカピポは、大統領の突然の襲撃に手を組まざるを得ない状況に。未だ見えぬ大統領のスタンド能力…、その正体とは!?

『スティール・ボール・ラン』レースとは
太平洋『サンディエゴ』ビーチをスタートし
ゴールを『ニューヨーク』とする
人類史上初の乗馬による北米大陸横断レースである！
総距離約6,000km　優勝賞金5千万ドル!!（60億円）
世界各国から屈強の冒険者達が集い、
その数は3,600人を超えた！

そして1890年9月25日　午前10時00分
ついに世紀のレースはスタートした！

ウェカピポ

ネアポリス王国の元王族護衛官にして鉄球使い。ジャイロ達に頼まれ、ルーシーを護衛する。

ディエゴ・ブランドー

通称ディオ。イギリス下層階級出身の天才騎手。ＳＢＲレースに優勝し、栄光と権力を手に入れる為に参加。遺体の一部「左眼」を持つ。

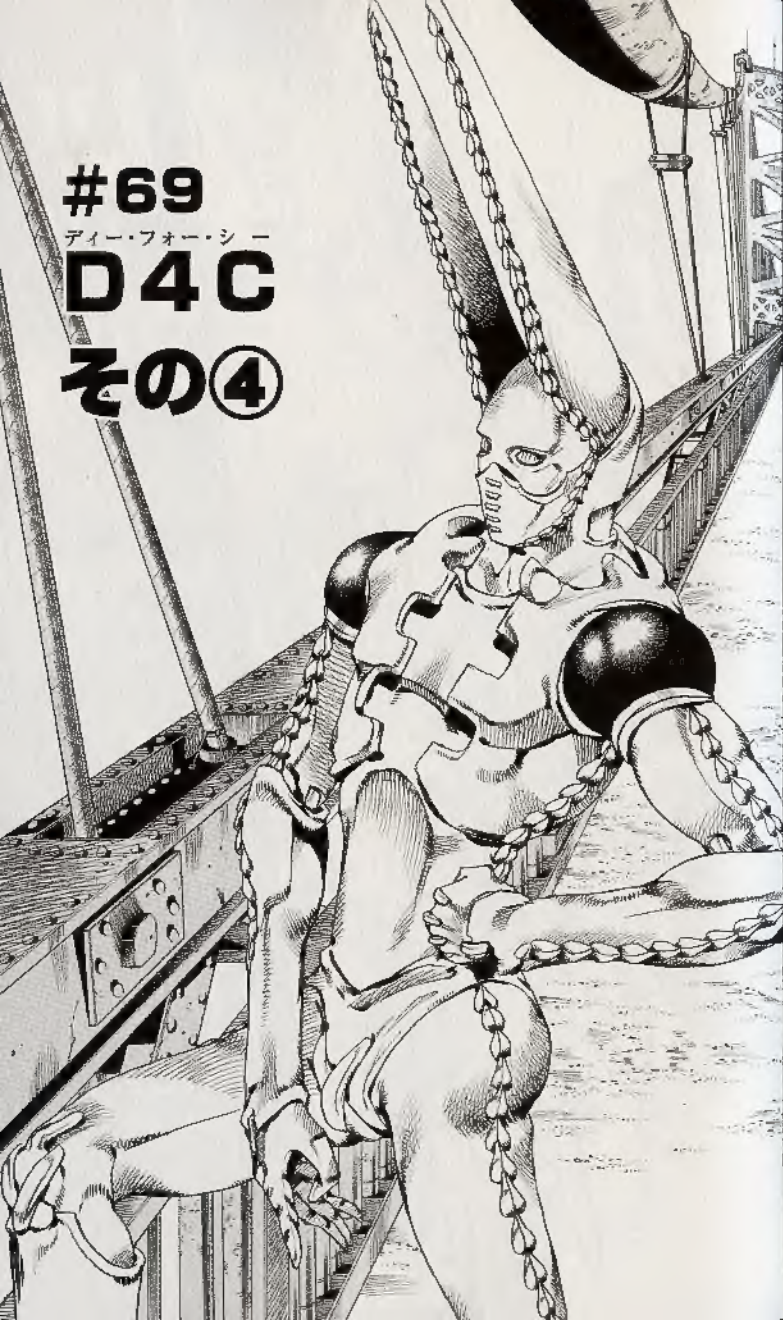
ルーシー・スティール

スティールを支える妻。夫を「よちよち」となだめる彼女は弱冠14歳!? 遺体の一部「頭」をお腹に宿している。

スティーブン・スティール

40年のキャリアを持つプロモーター。ＳＢＲの主催者。

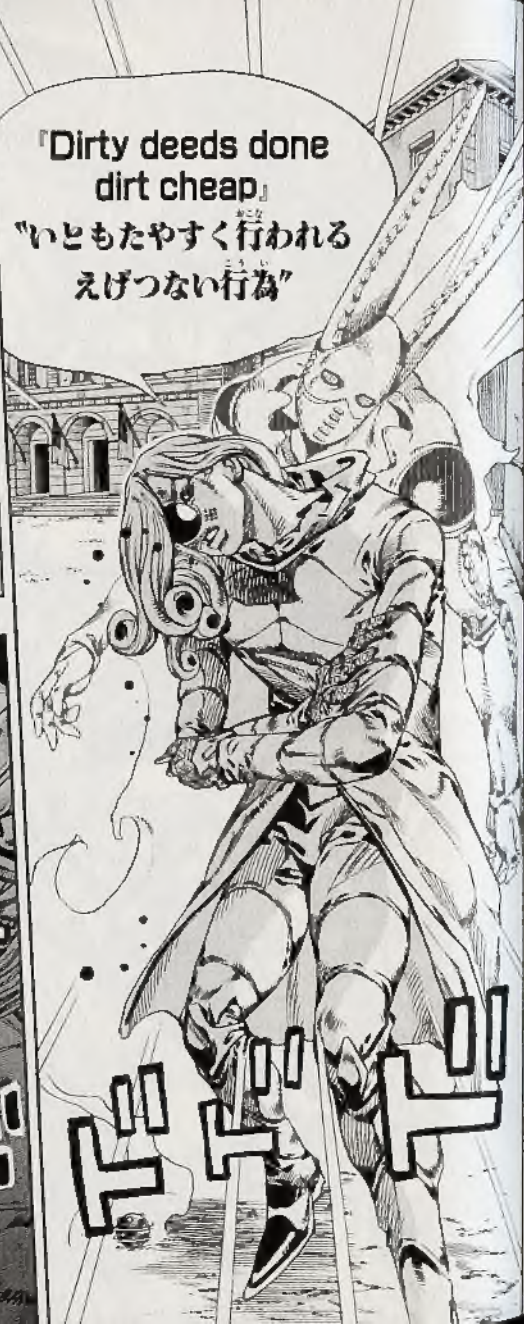
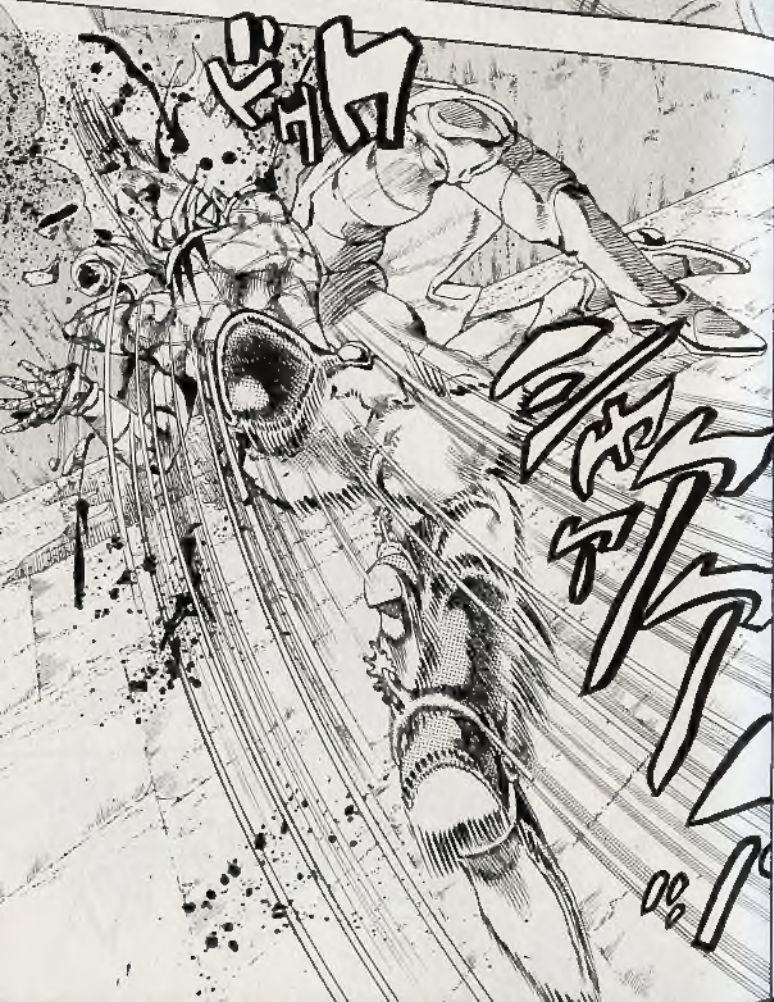
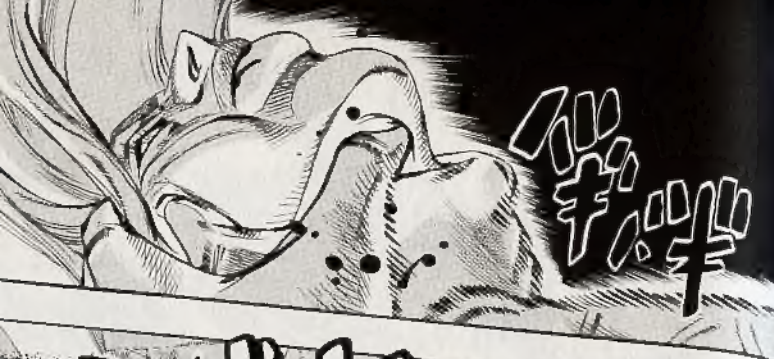
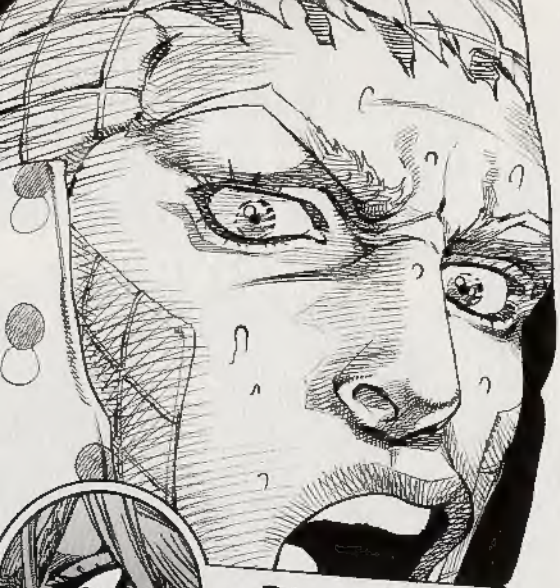
#69

ディー・フォー・シー
D4C
その④

STEEL BALL RUN

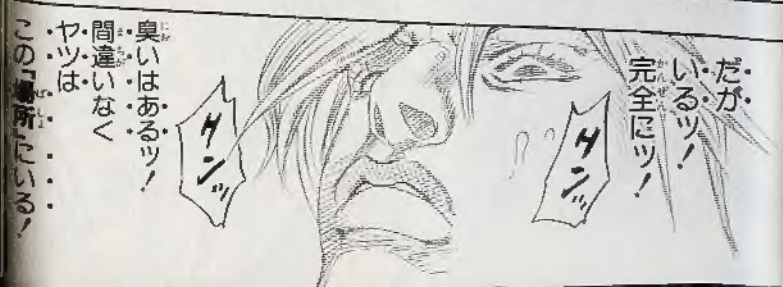
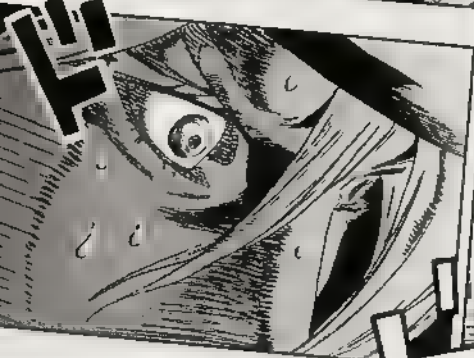
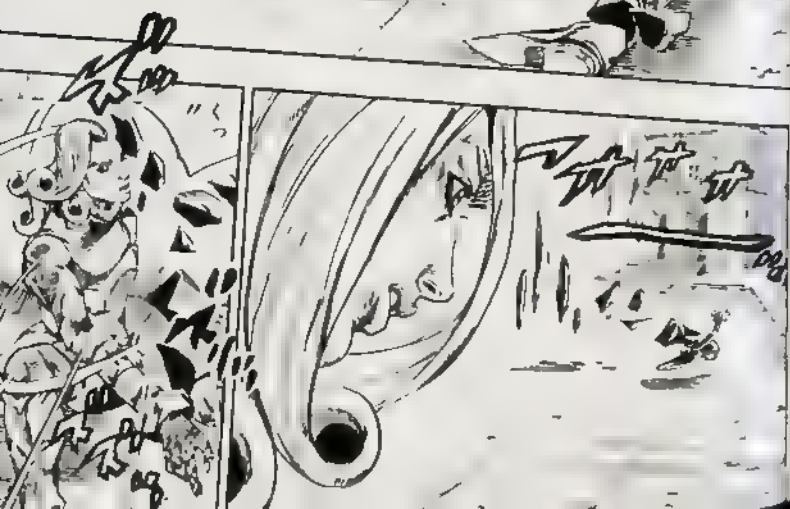
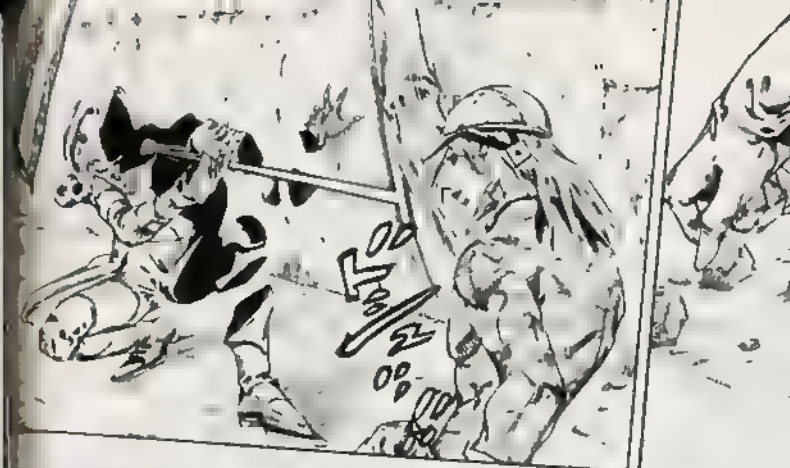
vol.18
CONTENTS

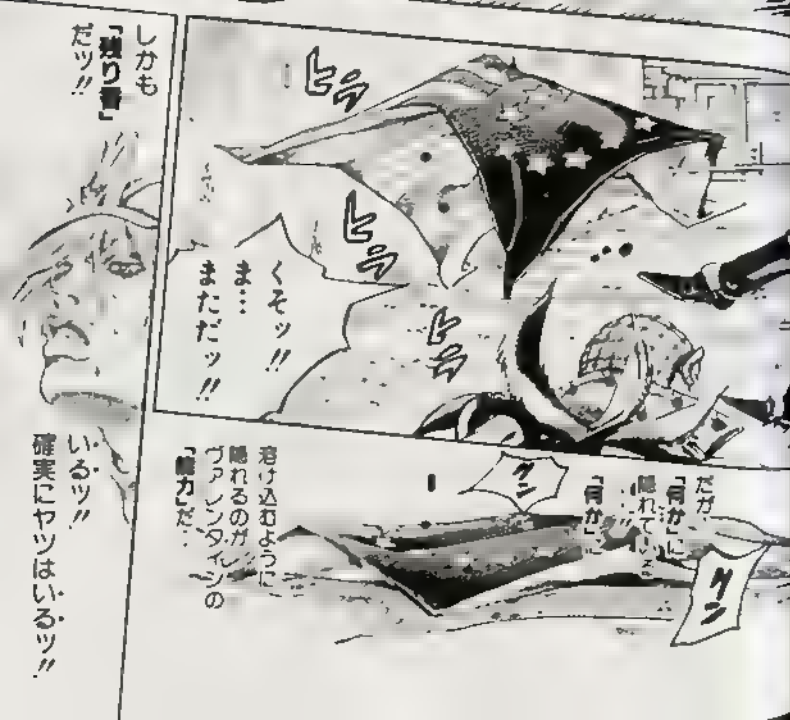
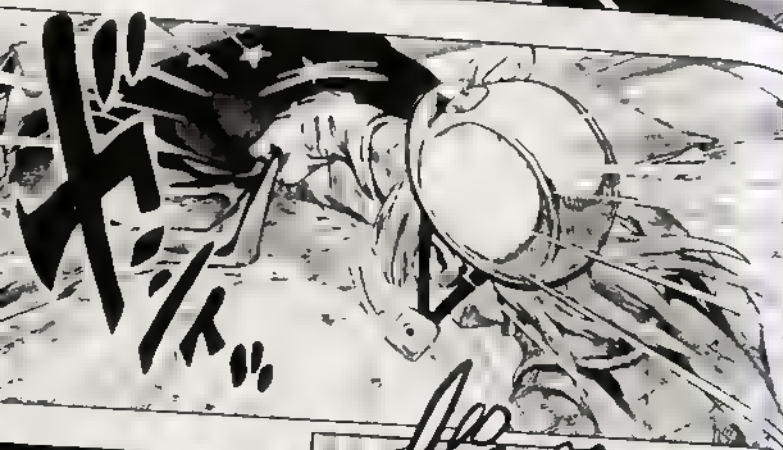
チケット・トゥ・ライド
涙の乗車券

ドドドドド
これで…
オレの「居場所」は
この地球上で無くなった
……
…いや…もともと最初っから
そんな所はどこにも無かったのかもしれない
……
何か意味のある「大きなもの」のために
護衛できれば／それでいい…
それしかできないのが
オレの性質だ…
ドドド
清らかだ
「ルーシー・スティール」か…一度も
会った事もない　ただのちっぽけな女の子のために…
この国を敵に回してしまった
だが
ま…
それもいいか
……
これでオレの
気分もけっこう
……
ドドドド
ボッゴォオオ
ドドドドド

ドドド
ドドド
ドド
……

何なんだ!? こいつはッ!!
こいつの能力は!? …「透明」になるとか「変身する」…とか
そんなんじゃあない……
ドドドドドドドド
うう!!
『Dirty deeds done dirt cheap』
"いともたやすく行われるえげつない行為"
ドドド
ヤ… ヤバイ…
ドド

……
ザパァ
はッ!?
Dio!
!!
何だ!?
こ…これは…!?
消えた!!?
今度は…消えたぞ
手ごたえはあったのに
クンッ
だが…いるッ!
完全にッ!
クンッ
臭いはあるッ!
間違いなく
ヤツは…この「場所」にいる!
『Dio』オオオオオオオ———ッ
ドドド
ドドドド

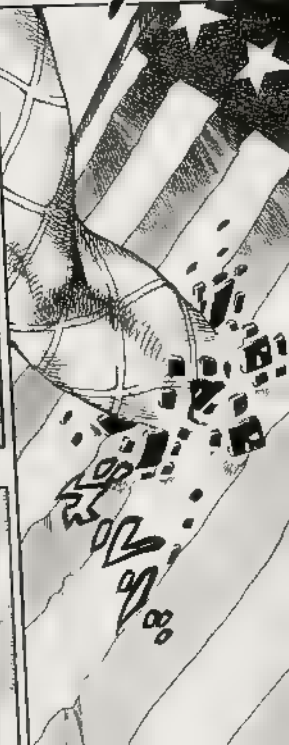
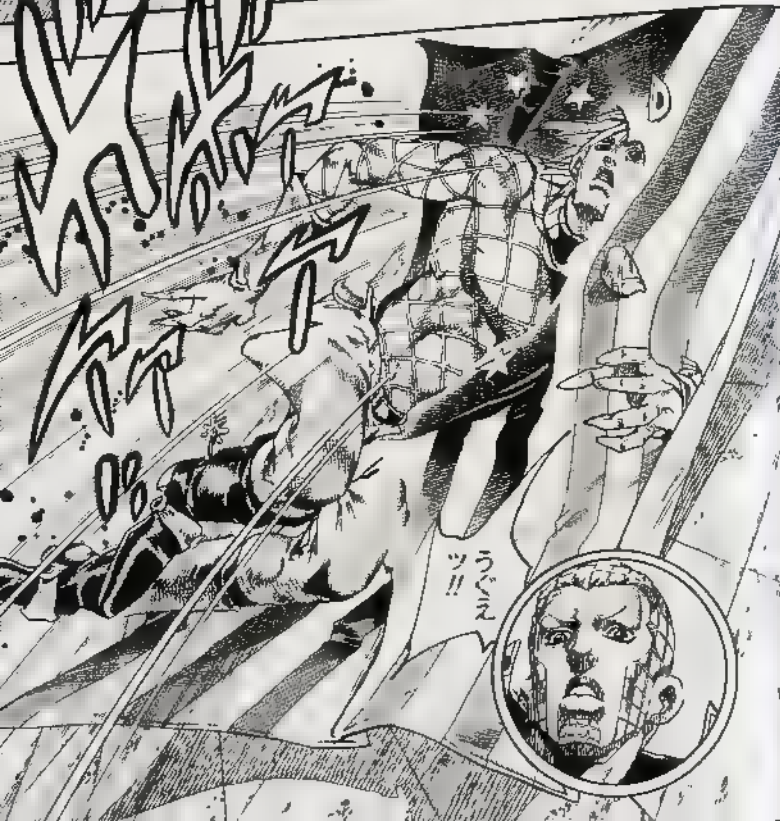
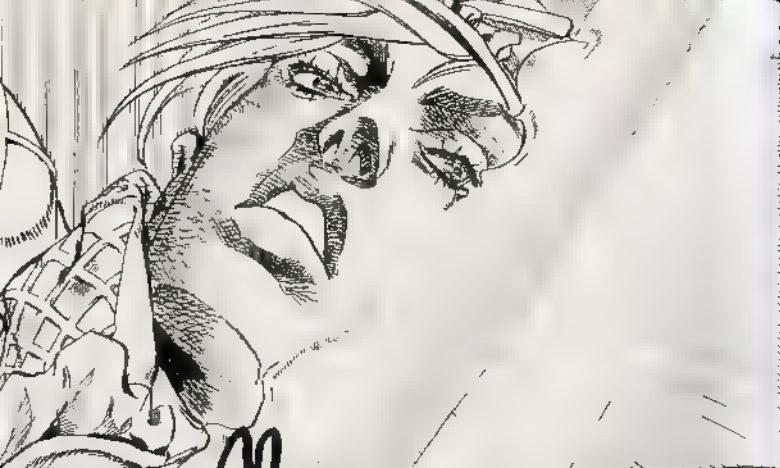
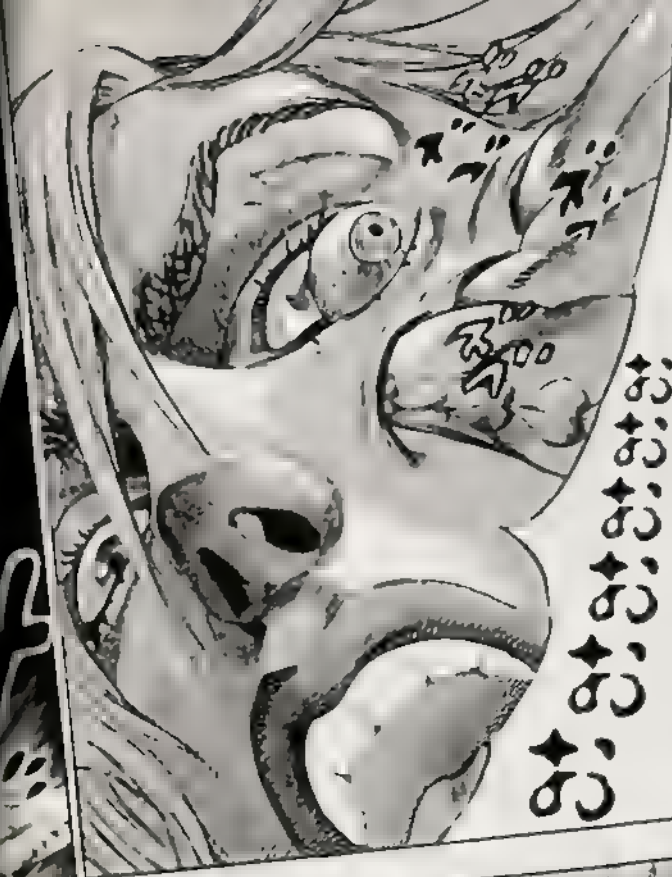
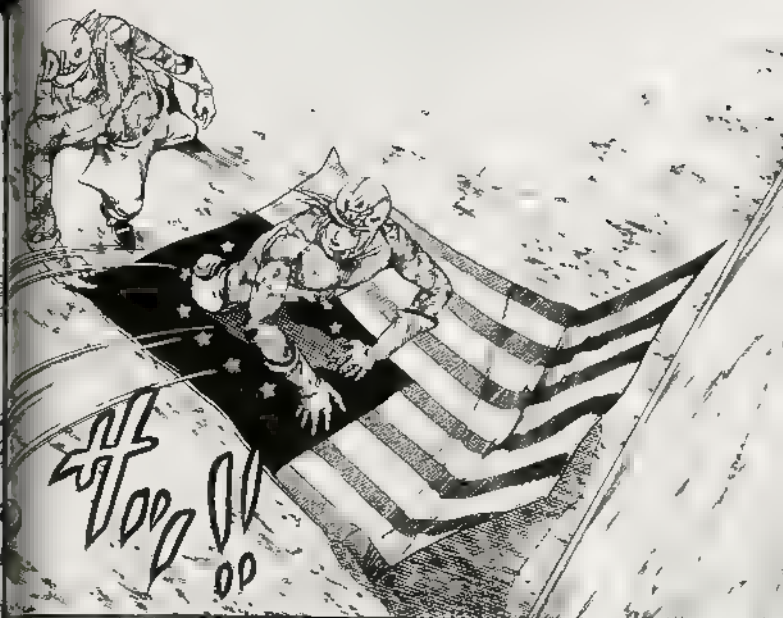
『Dirty deeds done dirt cheap』
"いともたやすく行われるえげつない行為"
うぅっ……!!
ドドドド
ドドドドドド
ドドド
ガバァッ

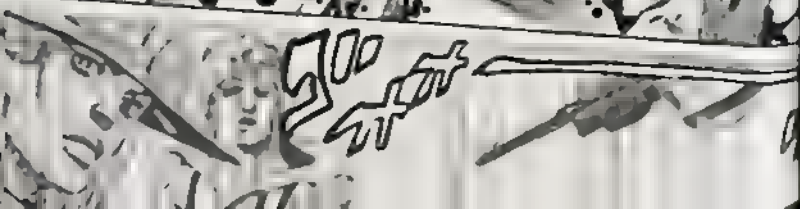
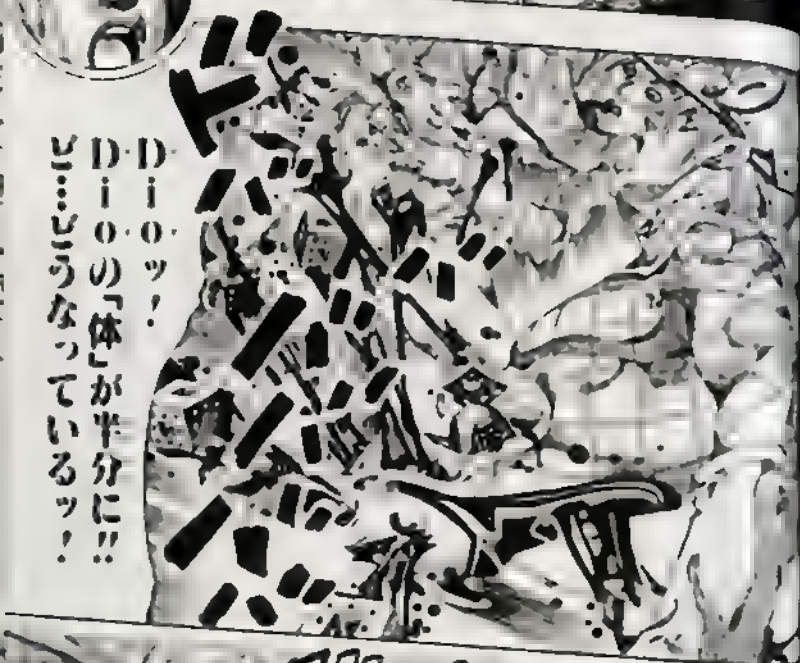
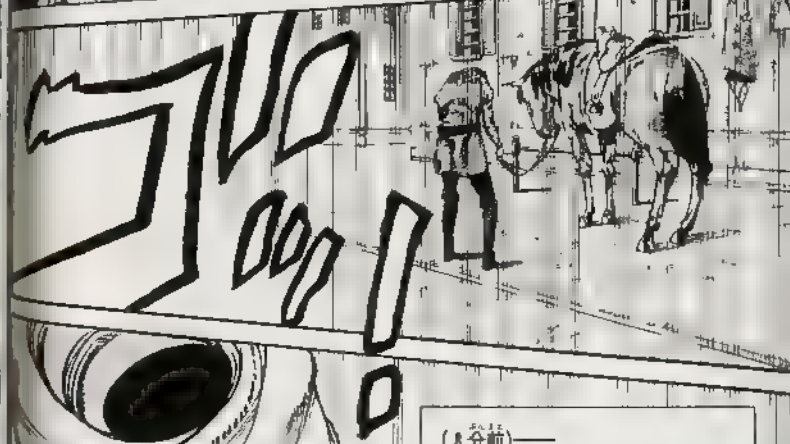
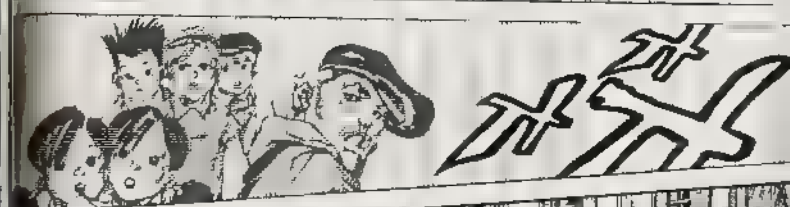
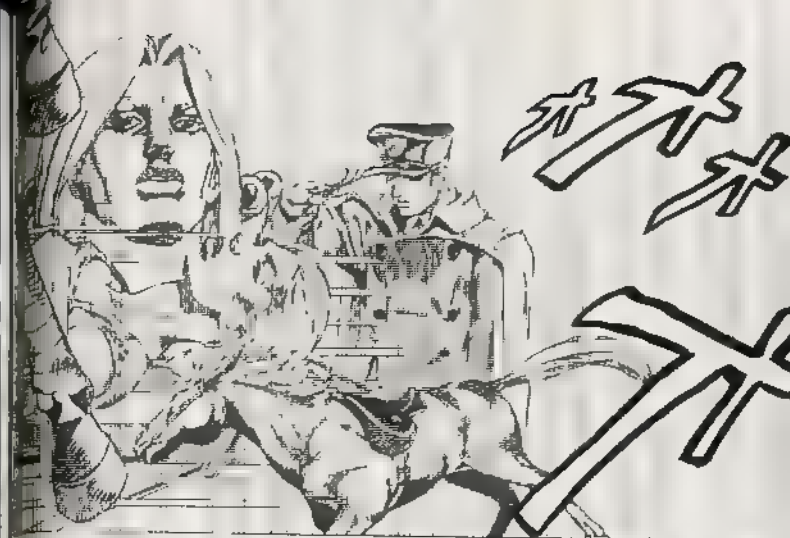
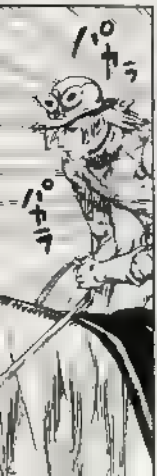
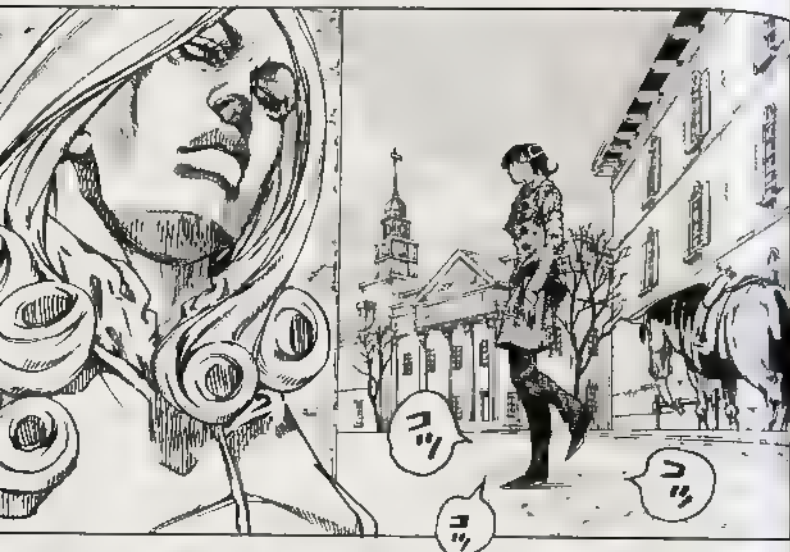
ボ
ボッ
ボッ!
ボッ

ネアポリス護衛鉄球——「左半身失調」ッ！
D・I・Oッ！
失調は十数秒しか続かないッ！
その間に「逃げる」か!? このままヴァレンタインを「始末」するか!?
どっちにしても動くならヤツの「左側」からだッ！
……

礼を言うぞッ!!
ウェカピポ
やれるぞッ!
もらった……

だが「何か」に隠れている……
「何か」に
溶け込むように隠れるのがヴァレンタインの「能力」だ…
グン
グン
ヒラ
ヒラ
ヒラ
くそッ!! ま…まただッ!!
しかも「残り香」だッ!!
いるッ!! 確実にヤツはいるッ!!

オレの足元数センチ下にやつはいるッ!
国旗の下に今やつはいる
ゴゴゴ
D-o失調の時間が切れるぞ!!
そこから離れろッ!!
いや!!「正体」をつかむ事だ…
見るなら失調中の今だ逃げたらそれは2度と不可能になる

「平面」だ
ズドドドドド
URYYYYYY

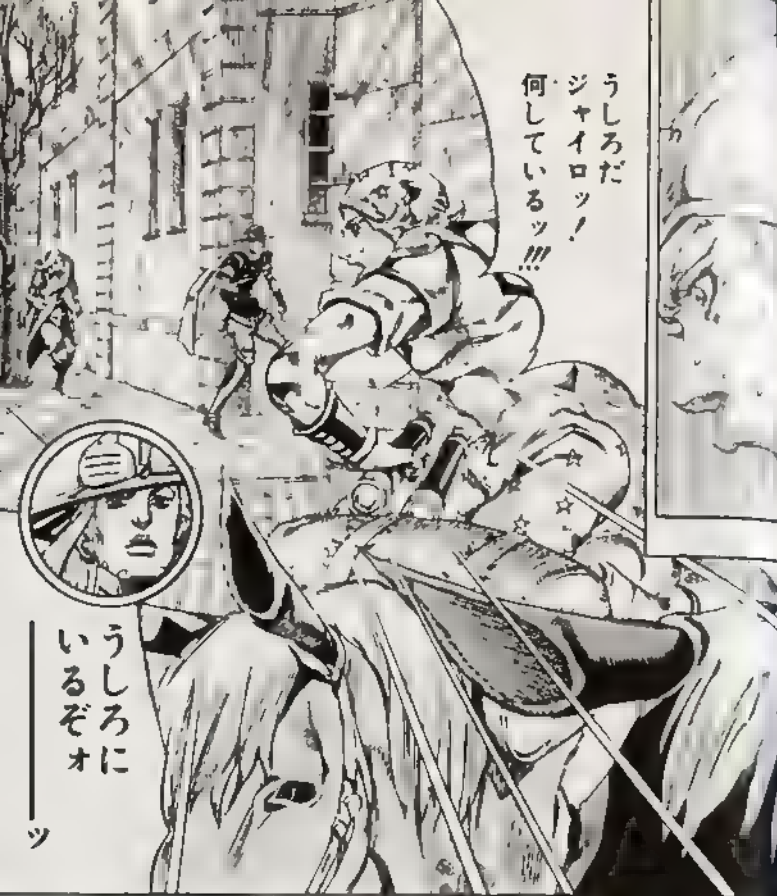
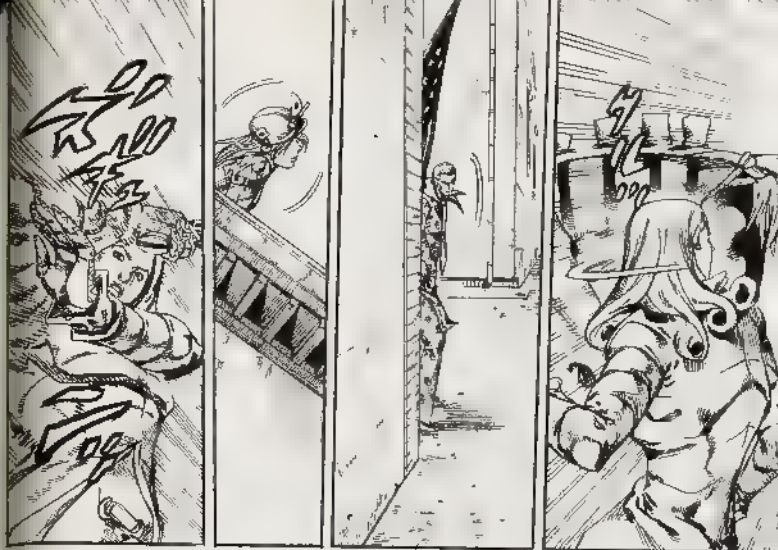
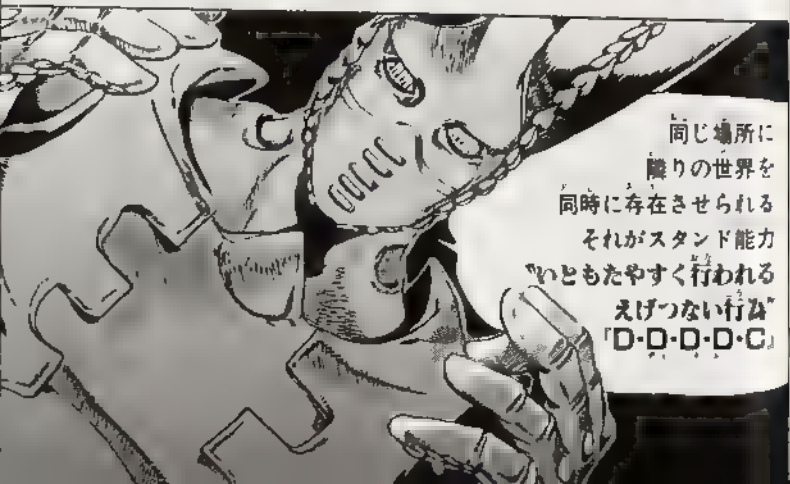
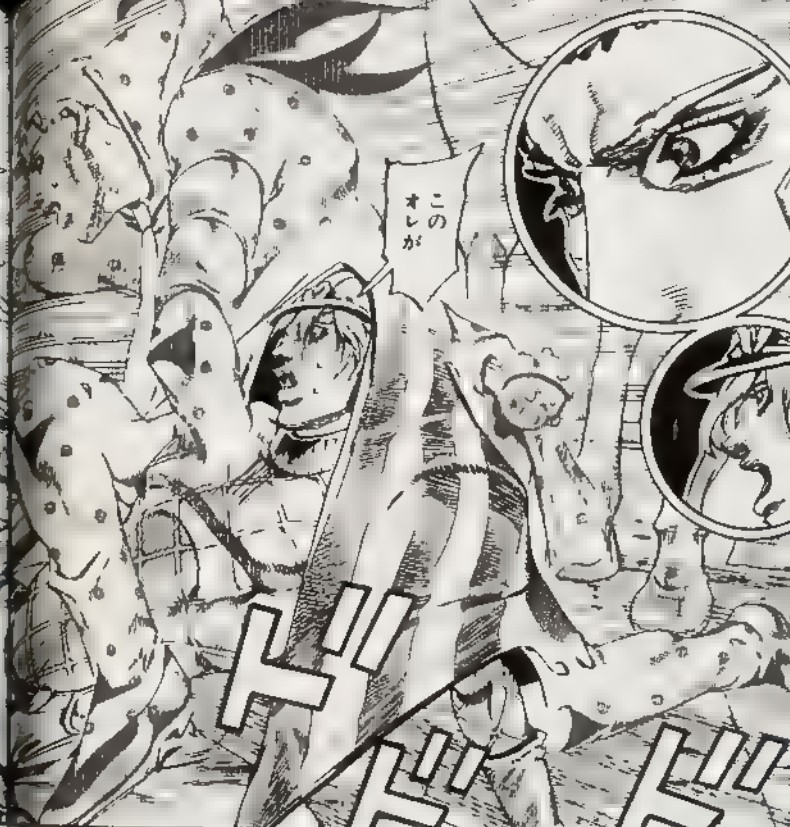
うぐえッ!!

D・i・oッ!!
こ…これはッ!!
はッ!
D・i・o
こ これは
!?

何だ!? こいつはッ!!
大統領がもうひとり!! 「国旗」の中から……
何だ!? こいつはッ!?
ディ…Dioが2人!?
『いともたやすく行われるえげつない行為』!!
体半分だけな……
こっち側に入れてやる!

うおおおおおおおおおおおおおお
おおおおおおお
ズルリ
これでついに「左眼球」が手に入った！！

ザッ
……
ううっ!!
オ…オレの「体」はどうなっている!?
この場所はいったい!?
何なんだ!?
胴から下はどこにいるッ!!!
オレは何をされたんだ?
くっ!!!?
ゆっくり味わえ…
はッ!!
ゲエッ
ボン

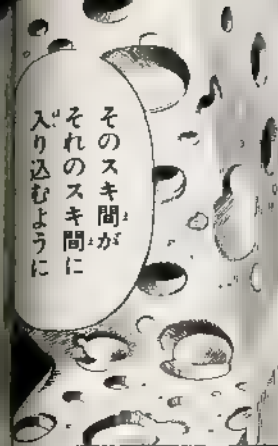
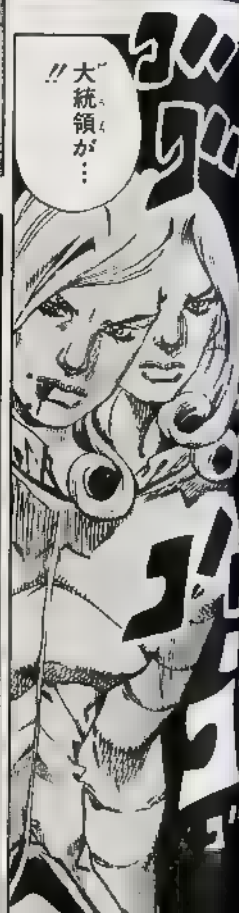
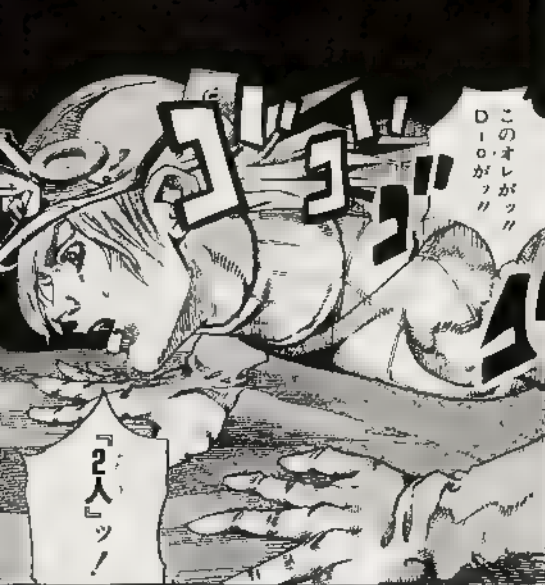
何イイイ——ッ
D・Dio・ッ！
D・Dio・の「体」が半分に!!
ど…どうなっているッ！

オオオオ
オオ
オオオオ
ゴロッ！
(8分前)——
16:10 PM——
フィラデルフィア独立宣言庁舎前付近
コツ
コツ
コツ
パカラ
パカラ
コツ
コツ
コツ

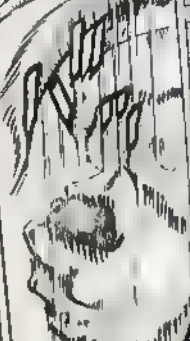
やはりな
いいぞ
尾けて来たなDio
うしろだ ジャイロッ！何しているッ!!!
うしろにいるぞォ――ッ

ドドドドドド
ドドドド
はッ!
ドドドドド
ドドド
ダンダンダンダン
ダンダンダン
…脚が動くのか
ジョニィ・ジョースター

ドドド
ドドド
ドドドド

このオレが
ドド
ドド
オレがッ！ジョニィ・ジョースターを撃ったのか!!
オレがッ！ジョニィ・ジョースターを撃ったのか!!
ウワ
16:13 PM
フィラデルフィア
独立宣言広場前付近
ドド
このオレが…
ドド
ドド
同じ場所に隣りの世界を同時に存在させられる
それがスタンド能力
"いともたやすく行われるえげつない行為"
『D・D・D・D・C』

#70 D4C その⑤

ディー・フォー・シー

スポンジと
スポンジが……
重なって……
そのスキ間がそれのスキ間に入り込むように
『2つ』が
ひとつになって
大統領が
大統領が…!!
このオレがッ!! Dioがッ!!
『2人』ッ!

オレの胴体が……
細切れのスポンジみたいになって崩れていく
あと5～6個体にこの穴が開いたら!!
「2人」!いるッ!!
ボズズ
ブヂッ
ブヂッ
このままだとオレは切断されるッ!

ヴァレンタインだけが行き来できるんだッ！
オレは「違う世界」に引きずり込まれたッ!!
そ・つ・く・り・そのままの少しだけ『隣りの違う世界』にッ!!
Dioッ！
はッ！
ドドドドドドドドド
ドヴァッ
ギャアアアアッ
うう
ガタガタガタ

D・I・Oォォォォォォ
「同じ世界」に「同じ2人」が存在する事はどんな者だろうと出来ない……このわたしのスタンド能力以外はな……
うおおおおおおおおおおおおお

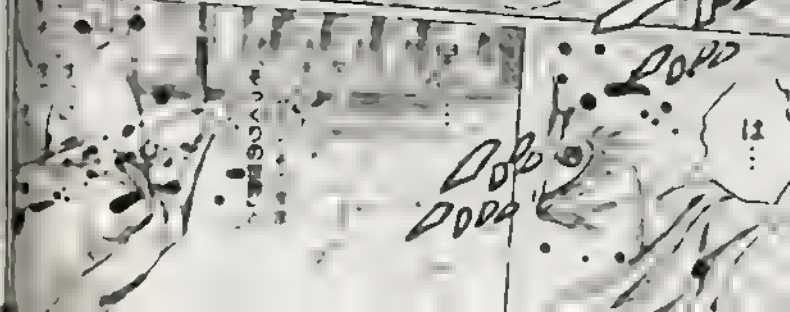
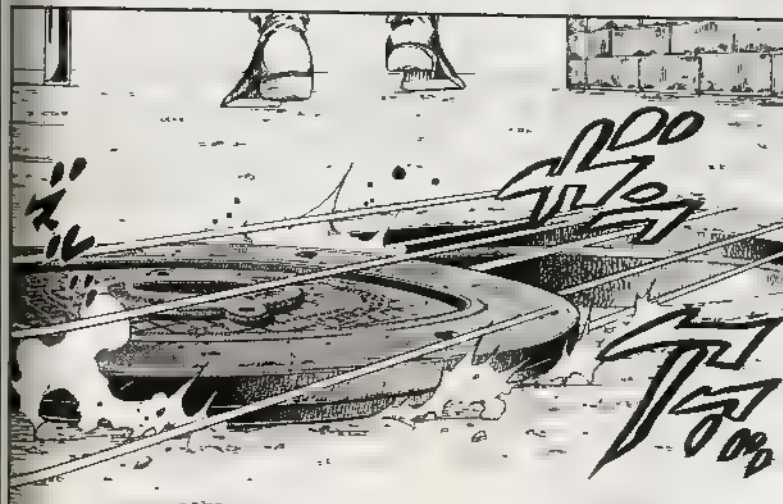
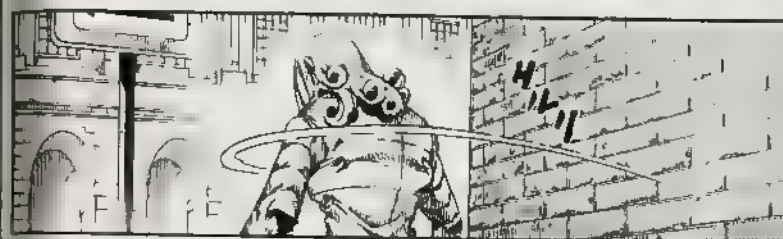
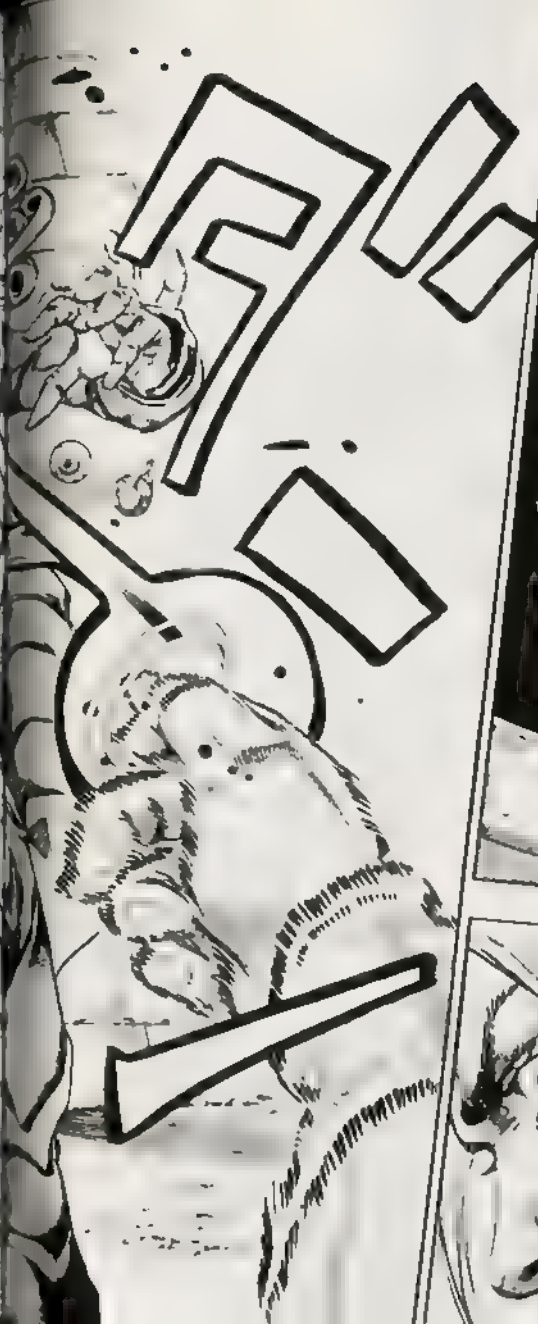
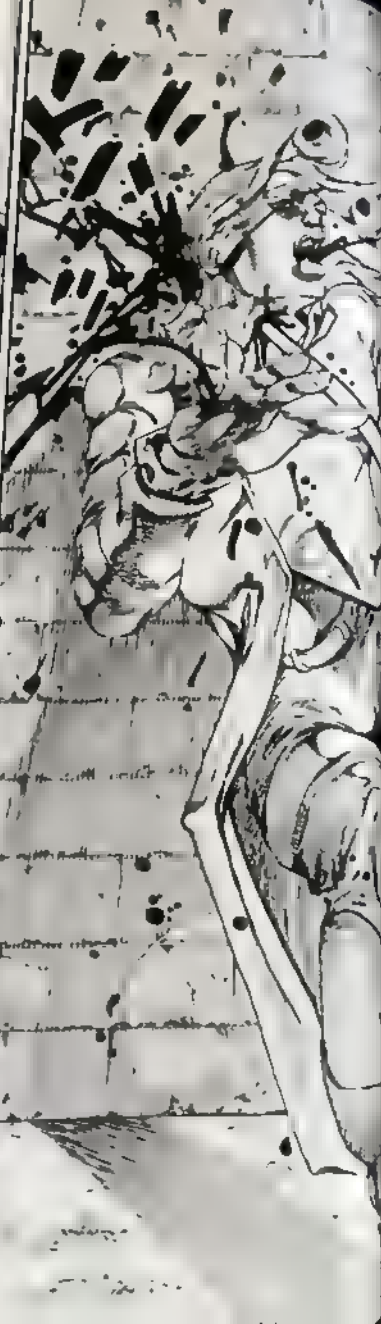
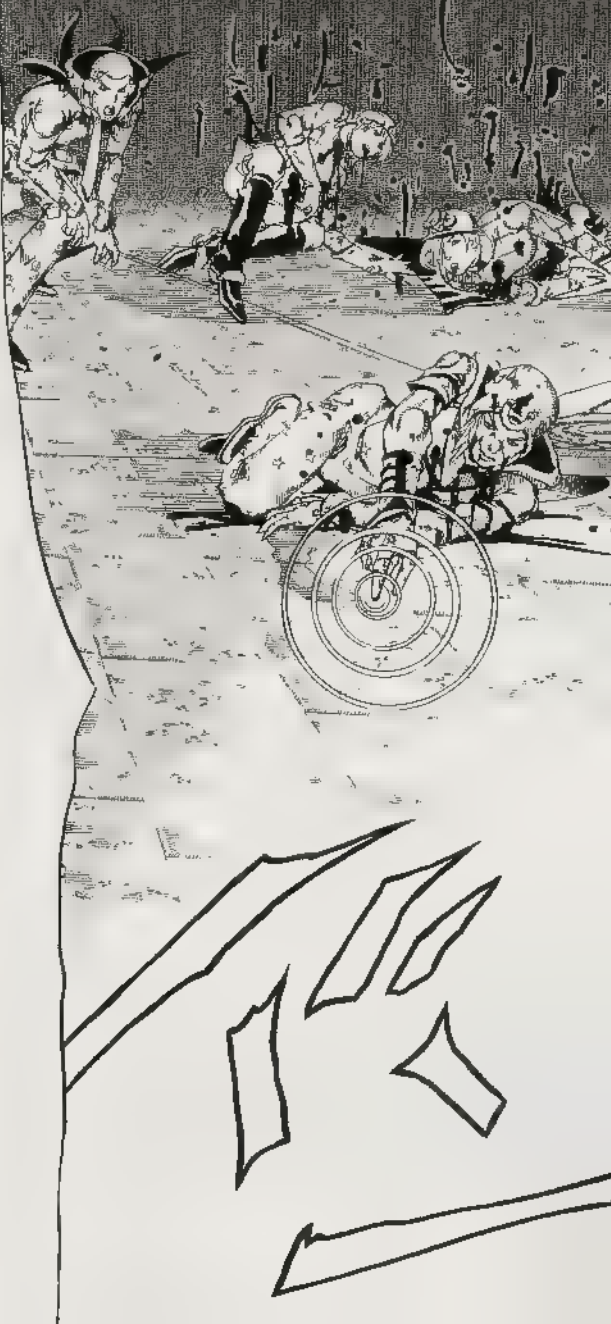
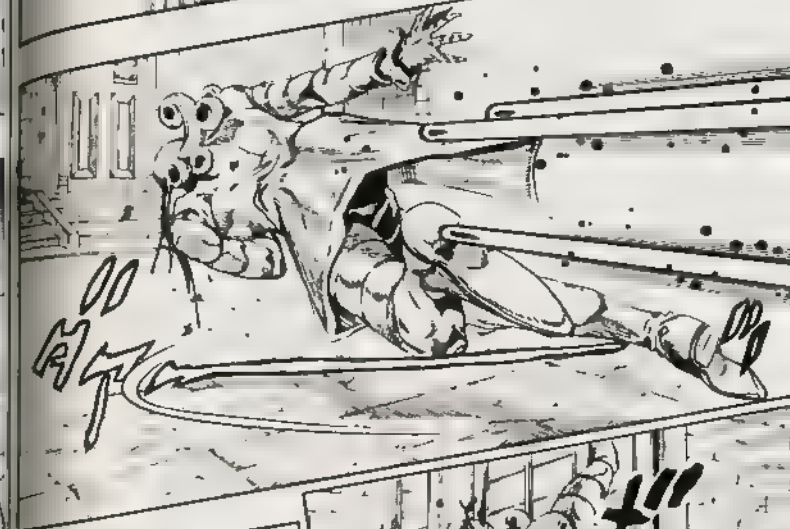
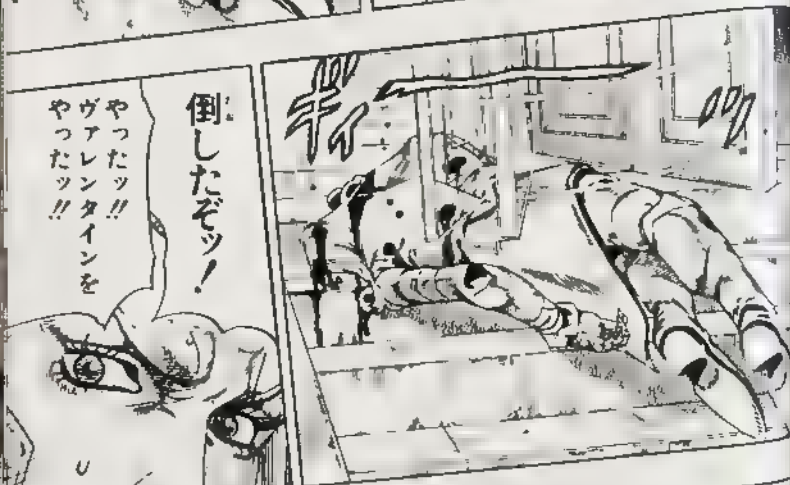
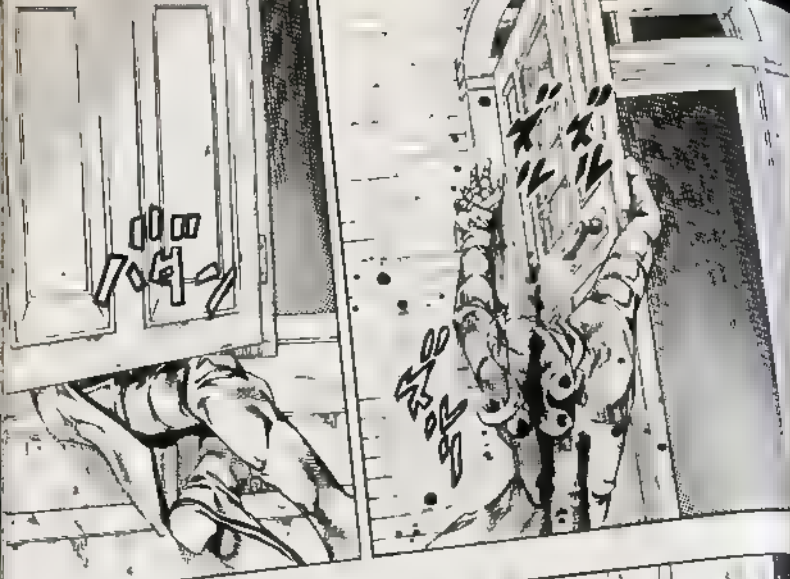
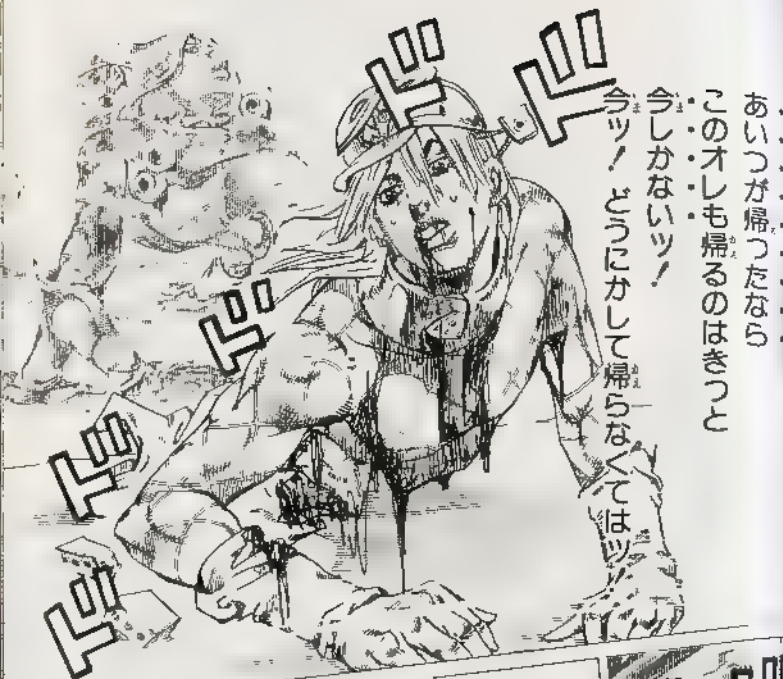
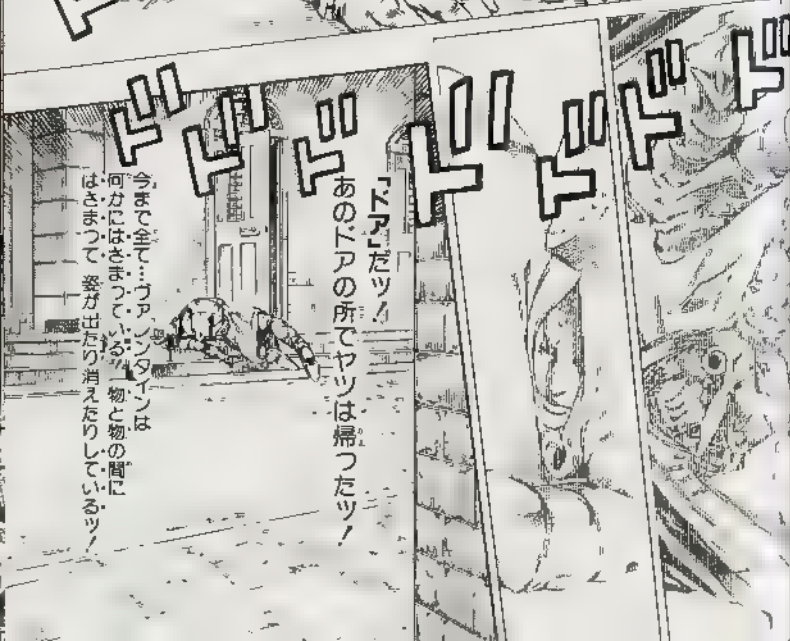
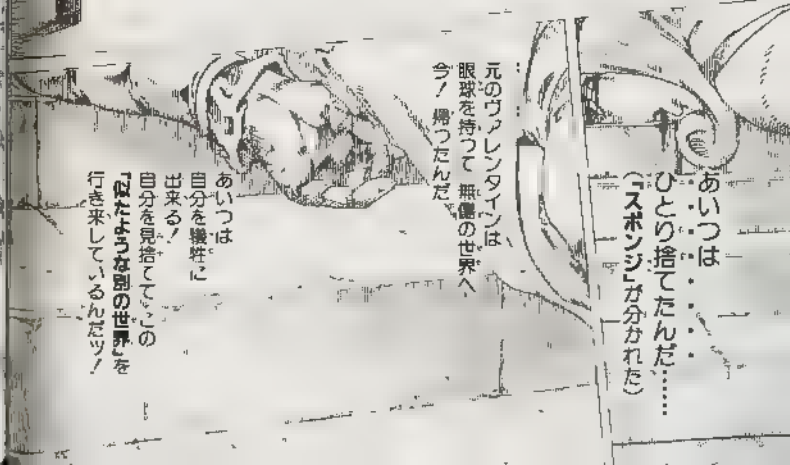
しまううう
は…
すぐ
そこまで

ガハッ
よし
ズル
……………?

か
かっ

何!!
まさかッ！こいつはッ!!
何ッ?!!?…
ドドドドド
やったぞ…
よく連れて来た…
ドドドド

ジョニィ・ジョースタ―――ッ!!
ドド
ドドド
恐竜ども……よく連れて来たぞ……瀕死のジョニィを
下水溝からよくぞ誘導して来たッ!
ドドド
う
なに
う…
ドドドド
ドド
そう…だった…
ジョニィは
脚が……
そ…
うくっ

倒したぞッ!
やったッ!! ヴァレンタインをやったッ!!

ハァ
ハァハァ
うぐ
う
いや…
違う
やつは今「帰った」！
落ちた眼球がどこにも無いッ！
拾われているッ！
つまり撃たれてそこに倒れているのは…残ったこっち側のもうひとりの方だ！
ジョニィに撃たれたのはそいつだけで
あいつは…ひとり捨てたんだ……
（「スポンジ」が分かれた）
元のヴァレンタインは眼球を持って無傷の世界へ今！帰ったんだ
あいつは自分を犠牲に出来る！
自分を見捨てて…この「似たような別の世界」を行き来しているんだッ！
……あいつが帰ったなら
このオレも帰るのはきっと
…今しかないッ！
今ッ！どうにかして帰らなくてはッ！
ドドドドドド
「ドア」だッ！
あのドアの所でヤツは帰ったッ！
今まで全て…ヴァレンタインは何かにはさまっている…物と物の間にはさまって姿が出たり消えたりしているッ！
ドドドドドドド

ヴァレンタインの体を
オレが押さえこんだ時、
オレの背中へつき抜けた
今ドアにはさまってヤツは
「帰った」んだッ!!
「何か」に
はさまるんだ!!
何か物質の間にはさまれば
きっと帰れるッ!!
くそッ!
だが
どうするッ
!
帰るのは
この今しか
ないッ!
どうすれば
!!
ああっ!!
うおおおお!
こっち側の世界の
オレが死んだッ!

何だ!?
これは!?
Dioの
が文字を!?
ヤツはどこかで
ているのか!
D、o、
これは……
頼む！
ウェカピポ
こっちへ
来てくれッ!!
!?
来てくれ!!
もう少しだ！
近くへ…
ヤツの能力の
「正体」がわかった！
来てくれッ！ 頼む！
そうだよ
…ああ！
どうやって ここを
脱出すればいいか
わかった
来てくれ
お前に
教える
「正体」？

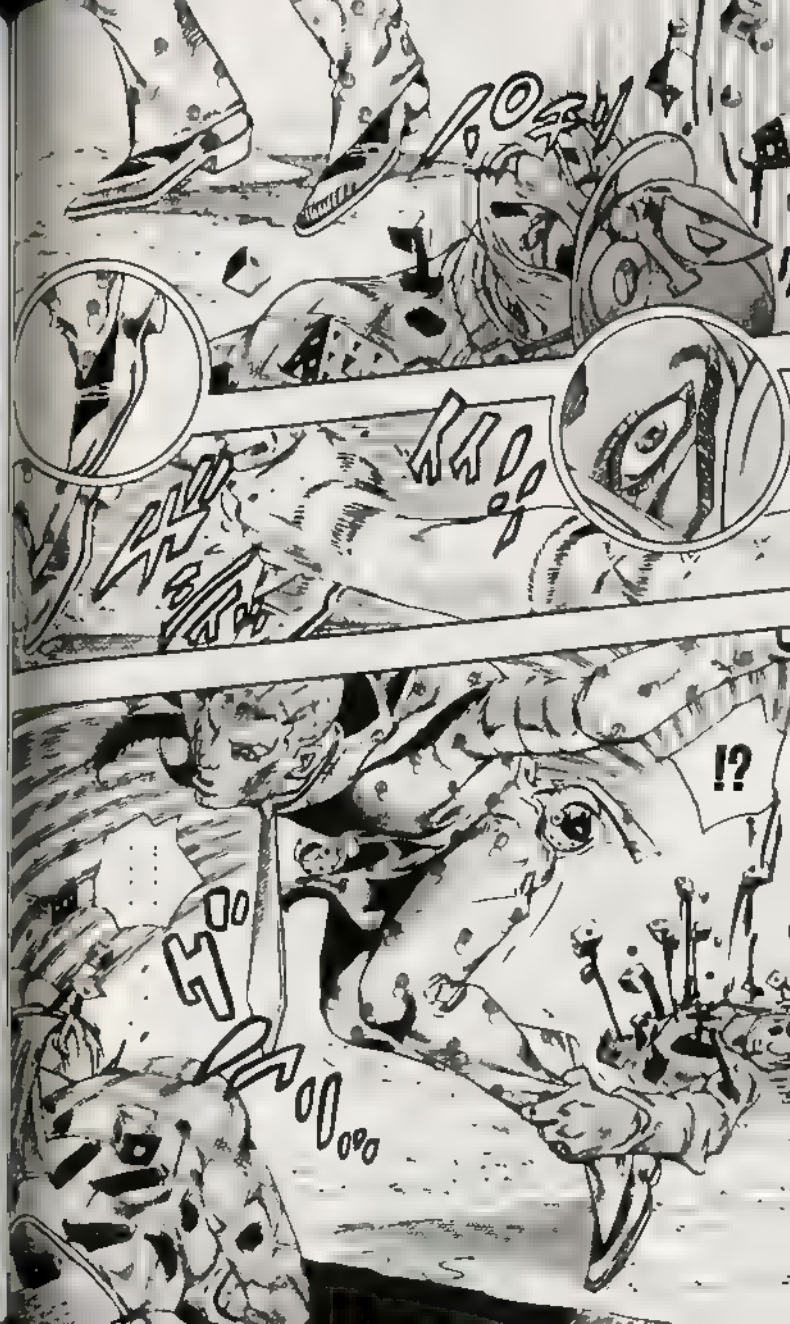
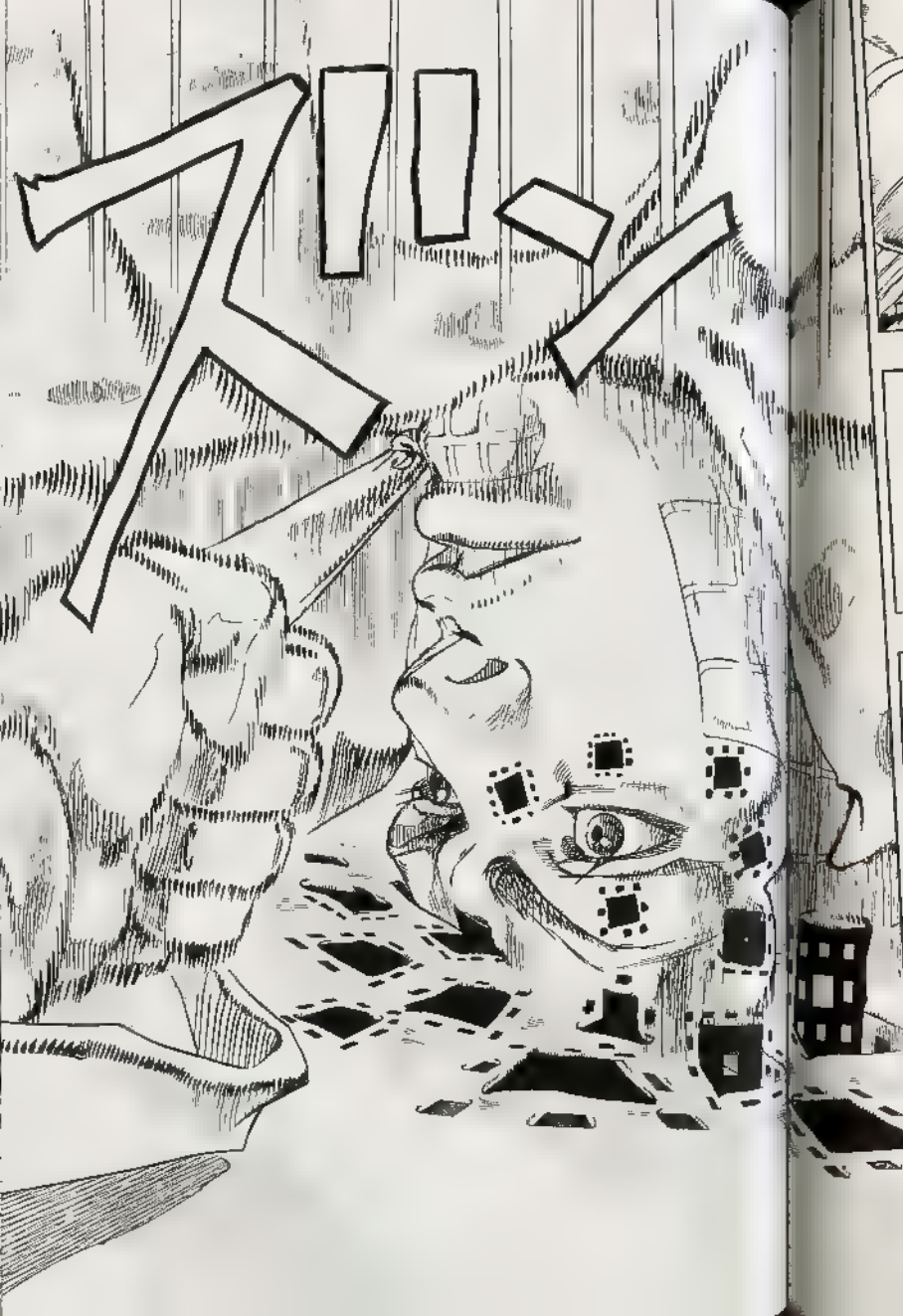
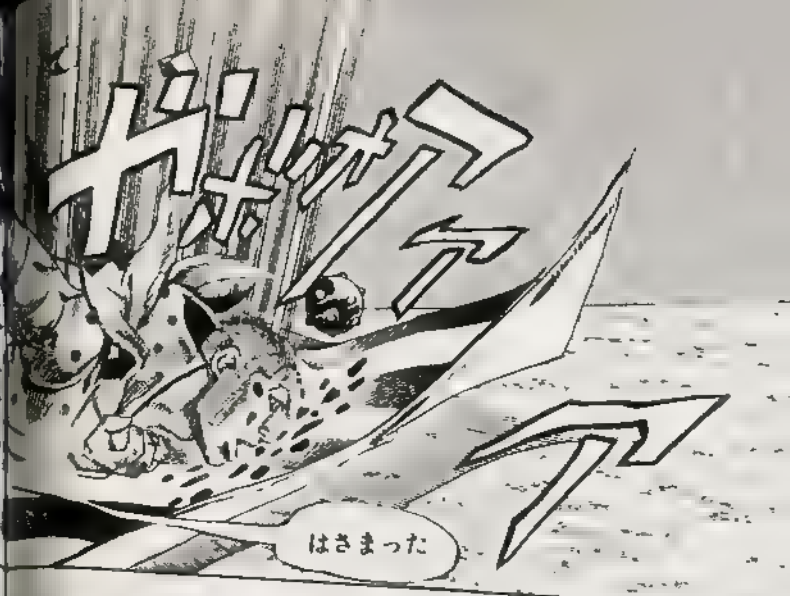
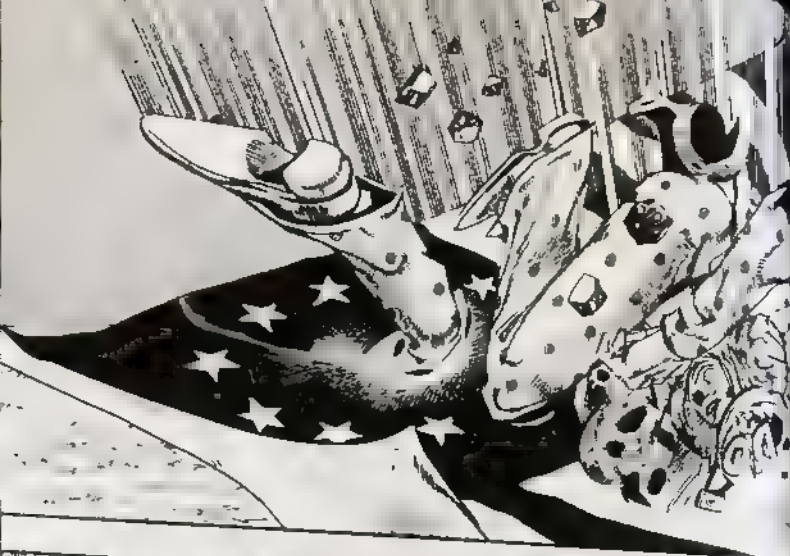
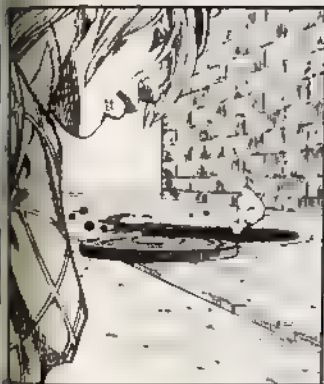
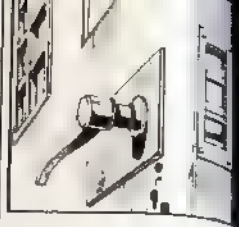
!?
……
ウェカピポ
悪いな……
おまえのおかげだ……
これでヴァレンタインのこの能力の正体がおそらくわかる
おまえと組めて良かったよおまえのおかげで

チラリ
!?
オレだけが理解する

はさまった
ウェカピポ……
……
あ…
ドドドド

やはりだぞ………
戻れた……
…元の世界へッ!!
そしてウェカピポが
…ちへ来た!!

感謝するよ ウェカピポ…… さようなら
おまえはこうするためにこの大陸に来たと考えろ
引っぱれ 両足を ウェカピポ

チラリ
…………
くそ……
奪われた……
「遺体」は全て……
ヴァレンタインのところに………

とはいえ「左眼球」は

「隣りの世界」でも「一個」しかなかった――

ヤツの手の中に「一個」

だけ

似たような隣りの世界なら…隣りにもうひとつあるはずなのに……「左眼球」は「一個」だけだった

それは間違いない「確かな事」

つまりヤツ――ヴァレンタイン大統領は――

オレのいるこの世界と似たような「隣りの世界」を行ったり来たり出来る能力がある

しかも……

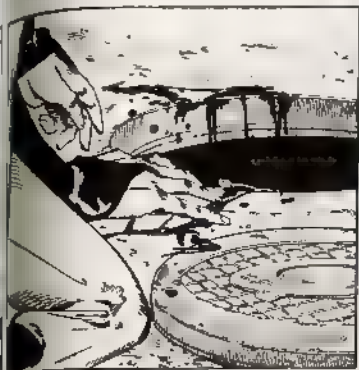
「隣りの世界」はひとつではなく個数はわからないが「いくつか並んで世界」があるんだ

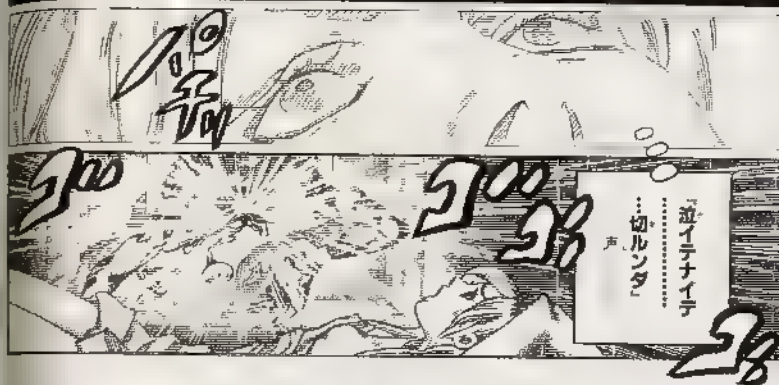
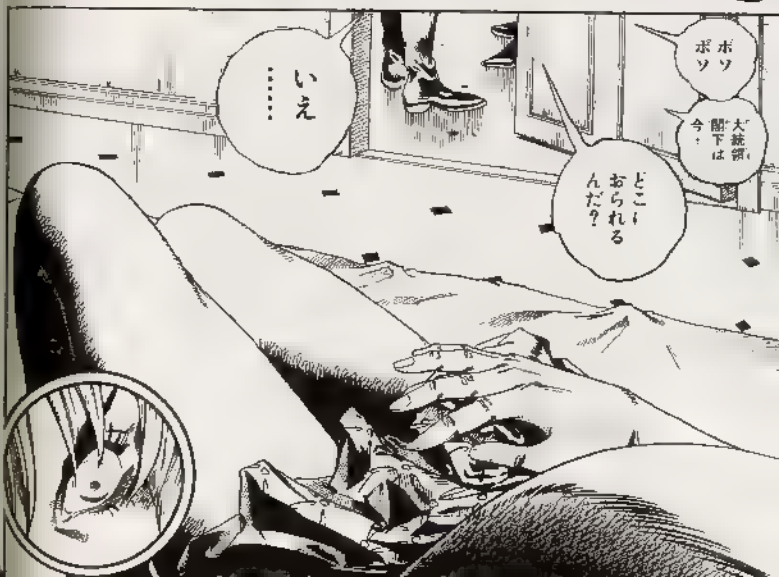
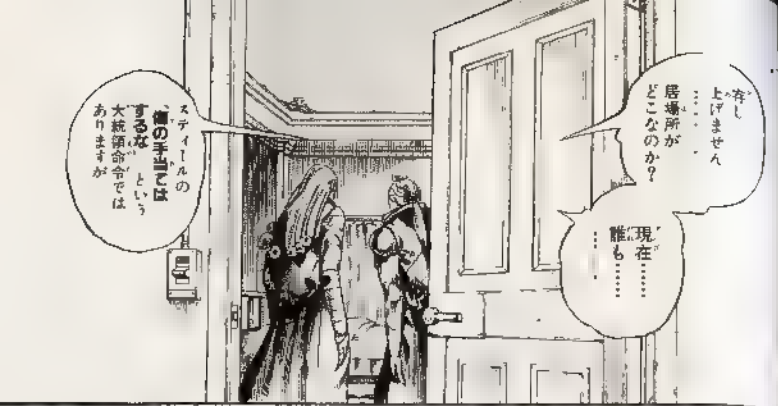
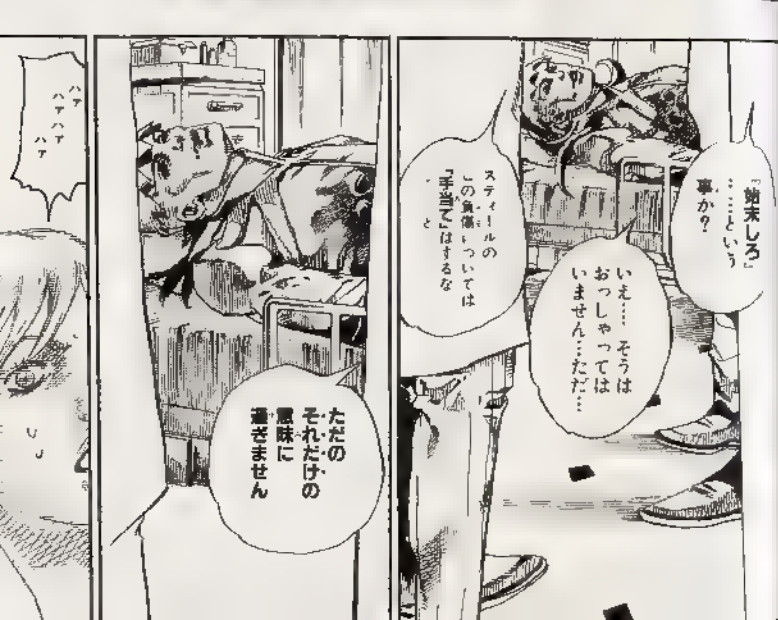
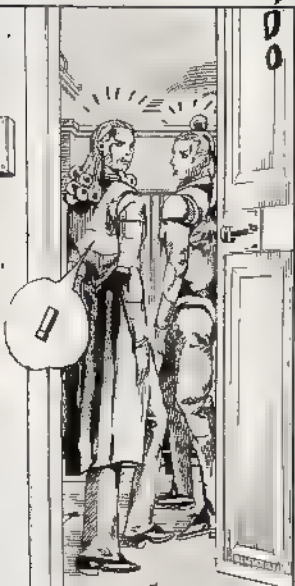
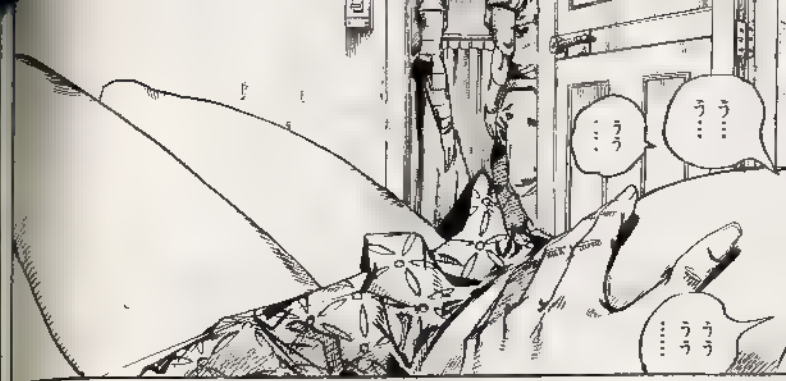
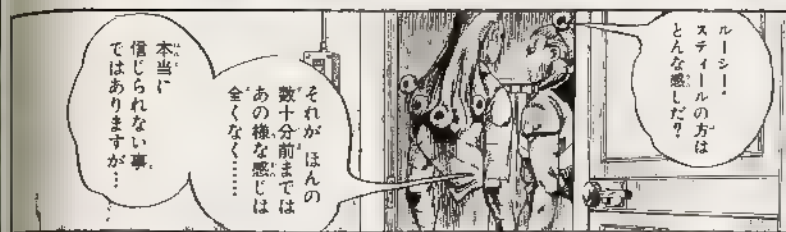
だからもしヴァレンタインが攻撃などされ体に負傷などした場合…「入れ替わる」

「隣りの世界」の無事な自分をこっちへよこし

負傷した自分を「隣りへ」捨てて「入れ替わっている」

「遺体」は オレの今いる
「この世界」のもの
たったひとつだけで
替わりは存在しない
「隣り」のSBRレースは「遺体」じゃなく
おそらくダイヤモンドか「何か」を
集めるレース……
（「隣り」のヴァレンタインはダイヤを地面に落としていた）
ボドン
それだけ
あの「聖なる遺体」は
特別で真に重要なもの
そして どこの世にも存在しない
たったひとつの奇蹟なんだ
この世界が
『全ての基本』
だ!!
……という事は……
「逆」に……
ヴァレンタインの
能力の弱点も
きっとそこにある
「この世界」が
「全ての基本」だという
所に……

いくつか今の予想した事を試したあとヤツをたたく！
「遺体」(左眼球)は全て奪われたが オレを殺さなかった事はヤツの決断ミスだ！
後悔させてやるぞ………!!
勝利の風はこのDioの背後から追って吹いている…
ジョニィだ………
ジョニィだ………!! ジョニィが「何か」を見た
ドドドド
オレが今追うのは大統領やDioじゃねえ
ドドド

#71 涙の乗車券(チケット・トゥ・ライド) その①

『切レ』……
『切レ……』
……『ルーシー』
16:39 PM
フィラデルフィア独立宣言庁舎

『切ルンダ』……
『切レ』……
『泣イテナイテ……切ルンダ』
声
ボソ ボソ
大統領閣下は今…どこにおられるんだ?
いえ……
存じ上げません……居場所がどこなのか?
現在……誰も……
スティールの傷の手当てはするなという大統領命令ではありますが
ハァ…ハァーハァ
ハァーハァハァハァ
つまり……
『始末しろ』……という事か?
いえ…そうはおっしゃってはいません…ただ…
スティールのこの負傷についての『手当て』はするな
ただのそれだけの意味に過ぎません
ハァ ハァハァ ハァ

う……う……
うう……
うう うう……
ルーシー・スティールの方はどんな感じだ？
それがほんの数十分前まではあの様な感じは全くなく……
本当に信じられない事ではありますが…
恐らく今夜中にも生まれるでしょう
一体何が起こっているのか いや…
すぐに陣痛が始まってもおかしくない胎育状況です
ハァー
ハァーハァー
ガタ
DOPDO
彼女のお腹の中の子は元気です
いたって健康な胎児！
ハァーハァー
ハァーハァー
ハァー ハァハァー ハァー

ハアー
ハア
ハアー
ハア
ハア
うう うううう
うう
おやおや目を醒ましてるな…
薬が効いてるはずなのに……
もう少し多めに打とう冬のナマズみたいに……
……おとなしくさせておけとの大統領命令だ
『切ッテ』
『泣イテナイテ切ルンダ』
ギョロ
!!
ギョロ
?
落ちついてルーシー・スティール
落ちつきなさい…
手荒な事は決してしない……
ううう
ううう
ああああああああっ

夫が何故ケガをしてるのッ!!?あああっ!!
撃たれてるッ!!すぐに手当てをしてッ!スティーブンの手当てを早くしてッ!
わかってるよ…ルーシー…我々は君たちを助けようとしている…君の為を思っているんだ
だから暴れるなよ……
お腹の中の子供の事を考えろ
おい!早く捕まえろッ
とっとと押さえつけるんだッ!!
ガッ
うわあああああああ——

ドドドド
泣イテナイデ…
切レ…
よし!眠らせろッ
冬のナマズみたいに
『切ルンダ』
アヂィィィィィィ
『切ルンダ』
『切レ』

?
!!
ハッ…!!
!?
!?…

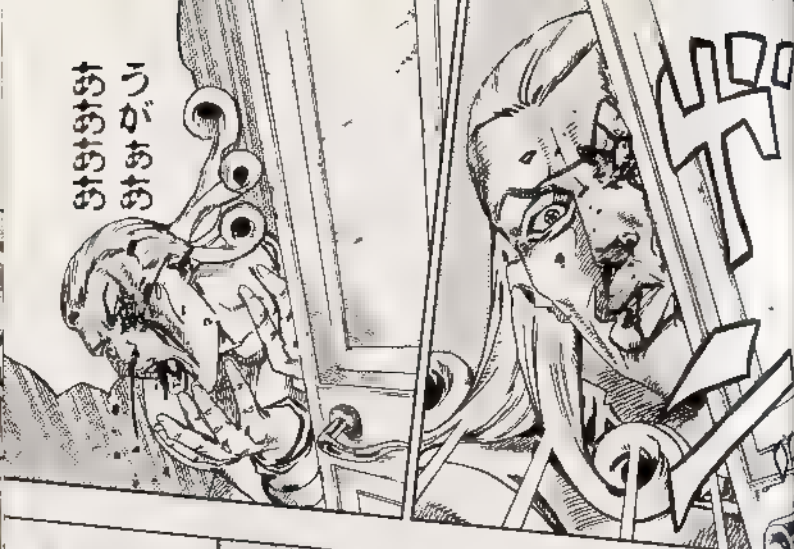
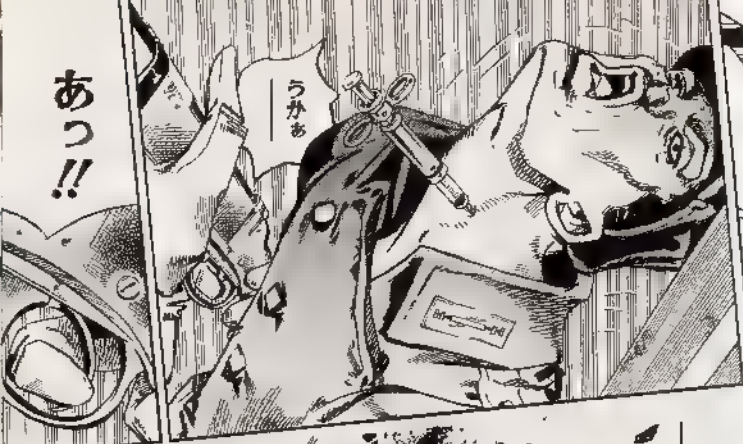
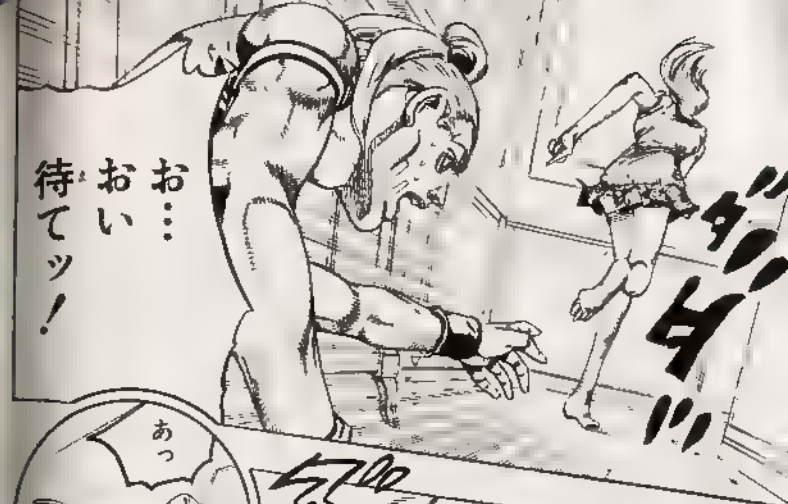
おい！早く薬を打てッ！
何をしているッ！
うああああ
……
……
……
うぐああ
お…おいッ！何してるッ！
すまんッ！ゆ…床の液体ですべった
追え!!
冬のナマズみたいにおとなしくさせるんだッ！

ドスッ
ドスッ!
うあああああっ
な……何だ!!
何なんだよッ! 何なんだ! おまえッ! 何してるッ!
おいッ!!
わからないッ!! スベったッ!! 妊婦だから手加減してるせいだッ!!
いいから追えッ!!
まわり込んで追いつめろッ! 廊下の奥のドアには護衛がいる 逃げられっこないッ! ケガはさせるな…!!
冬のナマズみたいにおとなしくさせるんだッ!!
ハアハア ハアハアー
ハアハア ハア
ハアハア ハアー

ルーシー・スティール
逃げられる事は決してないし危害を加える事もない
おとなしくしてればそれでいい
ハアハア
ハアハアハア
ハアハアハアハア
ハアハアハアハア
我々は君の安全とお腹の中の子の事を考えているんだ
チューッ
あっ

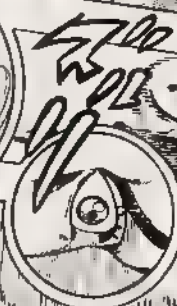
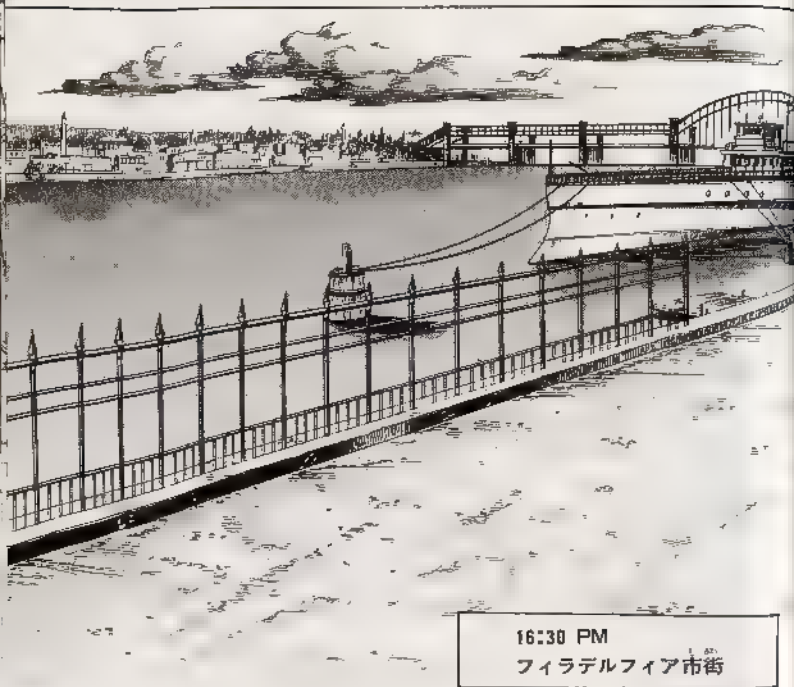
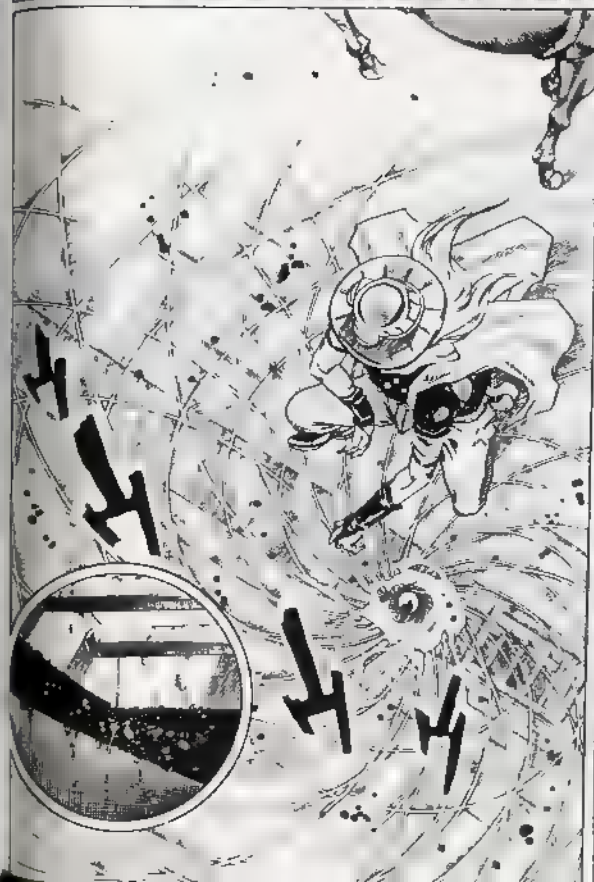
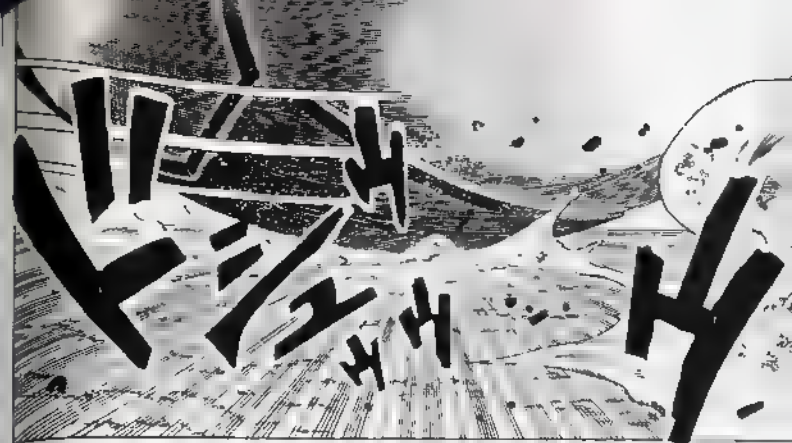
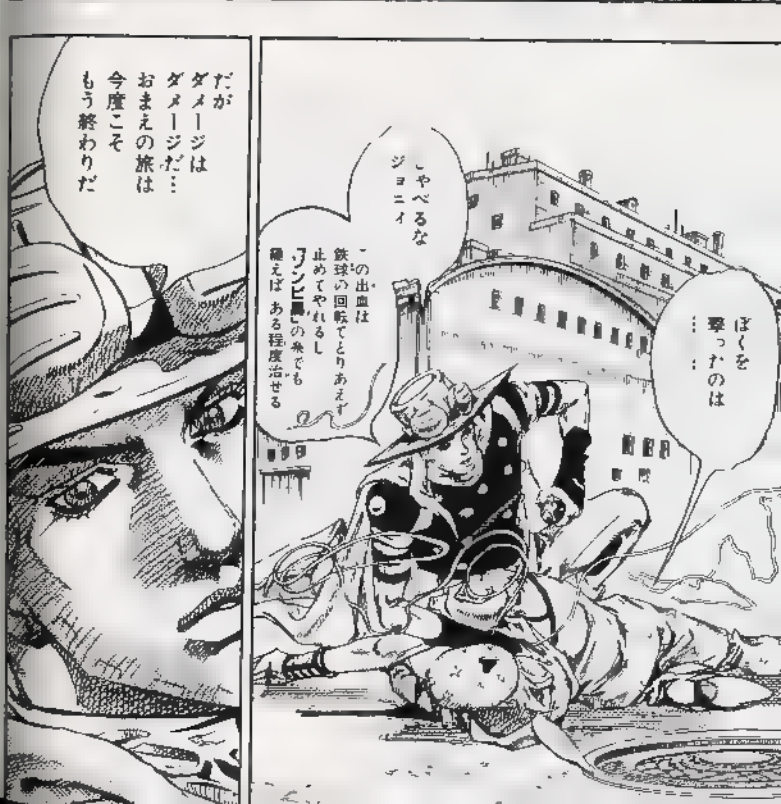
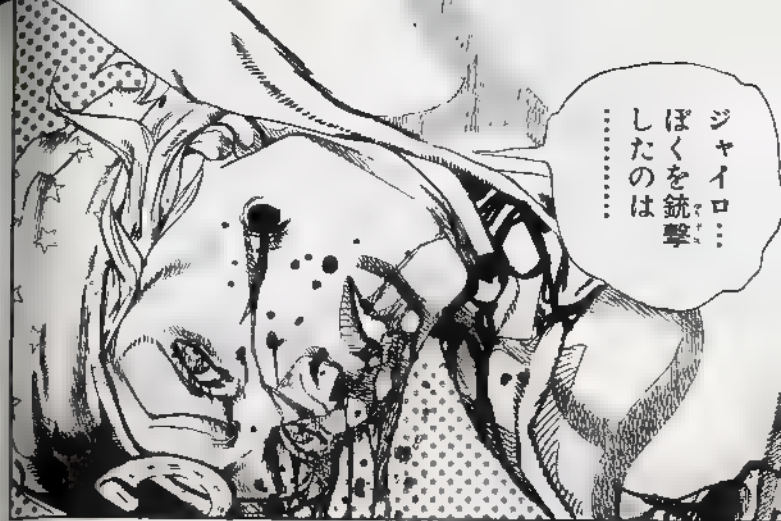
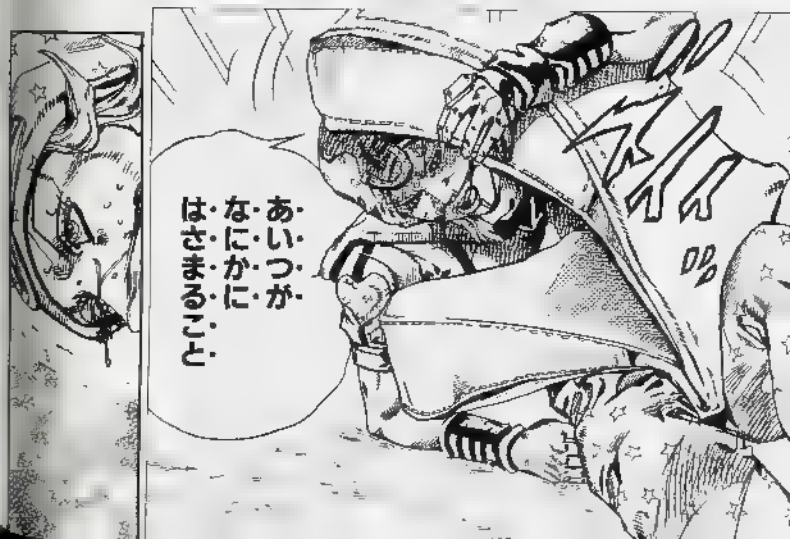
うおおお
ガチャリ
ヨロ…ッ
あっ
うがあああ
ああああ
あっ
何だッ！
何なんだ
あああああ
オレの左眼ばかり……
その女を
冬のナマズみたいに
おとなしくさせろオオ
ーーッ
おい…いったい
何の騒ぎだ？
グイイッ
あっ
ヨロリ

え
うかぁ―
あっ!!

あああああっ
チェ…
ヒクヒク
……
!?
何だ!? 何だああ あ
オ…オレが悪いんじゃあないッ!!
……さっきから何度も何度も おれの「足元」を… 同じ場所… 転んでばかりッ!!
あ…あいつは左の目元を 何度もくり返して ダメージが増幅して………… いったい………!?
!!?

お…
おい
待てッ!
あっ
ハァーハァー
ハァーハァー
いったい!?
いったい!?
ハァーハァー
『切レ!』
……
『泣イテナイテ……!』
いったい!?
あたしにしゃべりかけてくるのは誰?

#72
涙の乗車券(チケット・ゥ・ライド) その②

16:30 PM
フィラデルフィア市街

ドシュ

ジャイロ……
ぼくを銃撃したのは……
ぼくを撃ったのは…
しゃべるなジョニィ
この出血は鉄球の回転でとりあえず止めてやれるし「ゾンビ馬」の糸でも縫えばある程度治せる
だがダメージはダメージだ…おまえの旅は今度こそもう終わりだ
……
ぼくを銃撃したのは「Dioとウェカピポ」！
しかしそれは大統領の「能力」のせいだ
……それを見た！
大統領は「違う世界」へ行ける能力だ！
ヴァレンタイン大統領の体は「違う世界へ行き」
そして違う世界からもうひとりのDioや違うウェカピポを連れてきて撃たせるよう仕組んだんだ
ジョニィ……落ちつけ
今手当してやる
うなされるな
とにかくそういう能力だった！
少なくともそう見えた！

……
ぼくらのいる「この世界」から大統領はどこかへ「行き」
そして「帰って来れる」
もうひとりの同じ大統領を連れて来たりする……!
「行き方」は…
あいつがなにかにはさまること
公園の時ヤツはぼくらの馬と馬の間から出て来た
そして馬と馬の間にはさまれて消えた
次に国旗にはさまって大統領とD　oは地面に消えた
D　oは下半身だけ残っていた
そして最後ドアとカベの間から大統領が戻って来て
国旗からは
D　oとウェカピポが帰って来た
ドドドドドドド

もういい ジョニィ やめろ
話は後から聞く そういうのは後でゆっくりと聞く
Dioは きり抜けたが
ウェカピポが この世界で 2人に なった
そして ウェカピポは 死んだッ!!
ウェカピポは もう この世には 存在しない…
「向こうの世界」があって 国旗の間から ウェカピポが 連れて来られた
2人の ウェカピポが 出会った
そして消滅したんだ 向こうの世界から 連れて来られると
2人とも 死ぬんだ
ウェカピポは 死んだ!
そして大統領は 無傷で 独立宣言庁舎へ 戻って行った
それが ヴァレンタイン 大統領の 『能力』だ
ジョニィ
おまえの 見た事は 全て信じる
今 話してくれた事や 起こった事に オレは 少しの疑いを持ったりは しないし 幻覚だろうと 決めつけたりもしない
だが それで 「眼球」は どうなった?
Dioが 持っていた 左「眼球」だ

「眼球」は大統領に奪われて行った…
オレはそれを言ってるんだ ジョニィ…
大統領は得体の知れないスタンド能力で目的の「眼球」を手に入れ
遺体が全てそろったから おまえの命のとどめを刺さずに官邸に帰って行ったんだ! 完了したんだ …遺体はやつのところで全てそろってしまったんだ
決定的に終わりだ …打つ手はもうない…
あきらめるというのも「勇気」じゃあねーのか その負傷で もうどうにもならない
なあ… ジャイロ……!
さっき ぼくの脚が動いたんだ……
………
脚が動いて……
み… 見てくれ……
移動できたんだ…
み 見てくれよ 動いたんだ!

……見てくれ……
…見てくれよォォォ〜〜〜〜ッ!!
……
くそッ! もう少しだッ! くそッ!
あと ほんの少しなんだッ! どうしても遺体を手に入れたいッ!
「生きる」とか「死ぬ」とか 誰が「正義」で 誰が「悪」だなんて どうでもいいッ!! 「遺体」が聖人だなんて事も ぼくには どうだっていいんだッ!!

ぼくはまだ「マイナス」なんだッ！「ゼロ」に向かって行きたいッ！
「遺体」を手に入れて自分の「マイナス」を「ゼロ」に戻したいだけだッ!!
……
くそッくそォ――ッ
こんな事なら「遺体」なんて最初から知らなければ良かったッ！
あとほんの！ほんの少しなのにッ!!
……
馬の鞍の「鐙」が発明されたのは……
11世紀だ
知ってるか？なんと11世紀！……
それまではこの体重をささえる「鐙」なんてなく人類は鞍だけで馬に乗っていたんだ
ケツだけで足をブラブラさせてな

おかしいと思わねーか?
足をブラブラさせると血がうっ血するのに
ピラミッドを建造した天才の古代エジプト人も
医学の父ヒポクラテスも騎兵戦で世界を制覇したアレキサンダー大王も馬に足をのせるなんて発想をこれっぽっちも考えもしなかった
「鐙」がなかったんだよ ずっとだ 人類は何千年馬とつき合ってんだよ! そればかりか さらに紀元 〇〇〇年以上もたってからやっとこ発明されたんだぞ
なぜだか わかるか?
……
「鐙」は単に足をのせケツずれを和らげるためだけのものじゃない
馬のパワーを下半身から吸収して騎上で闘う「技術」のために発明されたからだ
馬のパワーが乗り手の腰から入り……
背中・肩へと螺旋で伝わり……
腕へと抜け武器を使う技術!! その鐙を必要としたのは『中世の騎士』!
…………
……
ゴゴゴゴゴ

ゴゴゴ
いいか…もう少し具体的に説明してやる
ゴゴゴ
「鉄球」は単に手首だけで回転させるものではない
自然から「無限のスケール」を学び
下半身から「腰」「肩」「ヒジ」「手首」「指」とエネルギーを伝わらせて体全体で回すから無敵の回転パワーが得られる
ゴゴゴ
ツェペリ一族の伝承によると
それに馬のパワーを「鐙」から加える技術がある！
ゴゴゴ
おまえさんがもし「鐙」に両脚をふんばっていられるなら……ジョニィ
もし馬から得たその「回転」エネルギーを生み出せたなら……
大統領の未知のスタンド能力に立ち向かえるチャンスはあるかもしれない

「馬」から
パワーを得る…
!?
どんな回転だ？
そ…その回転エネルギーで
どんな事が起こるんだ？
オレは
チャンスがあると
言っただけだ
今の話
どこにも何ひとつ
確実な事はない
オレは今まで
一度も馬のパワーを利用して
鉄球を使った事はないし
父上がやってるところを
見た事もない
本当にそんな「回転」が
あるかどうかさえもだ
何ひとつわからない
ツェペリ一族の
遠い先祖からの
伝承に過ぎないんだ
ツェペリ一族は
処刑執行官であって
「騎兵」じゃあ
ないんだからな
ジョースター家は
馬乗りの家系だ
だから
説明したッ！
おそらく回せるのは
「馬乗り」だけだッ

……
ありがとう
すぐに傷の手当てをして欲しい…ジャイロ
傷は完治しなくても馬に乗りたい
大統領の追跡と…
「遺体」の存在場所がどこかわかるのは ぼくらには もはや不可能になったが…
『ルーシー・スティール』がいる!!
このフィラデルフィアにいるはずだ 彼女がどういう状況なのかわからないが
もし彼女の正体がまだ大統領にバレていないのなら
彼女が情報をくれる!
『ルーシー・スティール』を救い出そう
まだ時間はある!!
まさかルーシーが ぼくらの最後の「切り札」になるとは…

ハアー
ハアー
ハアー
ハアー
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
ガシャン
ハアー
ギギ
ハアー
ハアー
カタン

そのショットガン！気をつけて…
「切る」わよ
お願いがあるの…
このまま馬車を外に出して！
そうした方がいいわ
あなたが何を試みようと馬車を出さざるを得なくなる
わ…わかった
い…今…
……銃を捨てる
うっ
おいきさまッ動くなァ——ッ
お・おまえ何をしているんだ!?他の警備兵たちはどうしたァ——ッ
あっ!!座席にいるのは『スティーブン・スティール』!?

?
ゴフッ!!
ハッ
!!
うがぁーッ
アフッ
て・てめ～ッ!!
そっ・そこを
動くんじゃあ
ないぞッ!!
あっ!!

ヒヒイイイン
あっ!!
ガラガラ
ガラガラ
うわぁああああ
ドザザザ
台に座って運転して下さい
この庁舎の敷地を出るのよ
とうせきと運転台に戻って座る事になる…
うくぁあああ――ッ
うおっうおっ
ズザザザ
ガラガラ
ゴロゴロ
ゴロゴロ
うがぁ――ッ

た…大変だッ！
誰かいないかッ!!
馬車をとられたッ！
脱走だァ――ッ
あっ!!

うがッ？ ツッ!!
ひイイイ!!
……
ひイイイ
イイイイイイ
腐ドったド
うがあ
あーッ
アブッ
アブッ
サッ！

うぐぐ
うぐ
ひっ
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
次の角を「左」へ…
「左」へ曲がってください
く
「左」ダルーシー「左」へ行クノ
うぐ
ぐぐ
うっ
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
曲ガッタナラ ソノママ真ッ直グ行キ…
「デラウエア河」へ出ルンダ
ガラ
ガラ
ガラ
「デラウエア」河？
とこへ連れて行く気なの？
（あたしの体の中から聞こえる声）

「河へ行ケ……
「あなたは誰」？
「涙のカッター」
なぜあたしたちを庁舎の外へ助け出してくれたの？
いったい……………
……
ガラガラガラ
ガラ
「河」へ出タナラ……
ガラガラ
ガラ
船ヲ探スノダ…
ガラ
ガラ
ガラガラ
ガラ
ガラ

ドドド
『左眼球』
『右眼球』
ドドドドド
『船の所へ行くのだ』……ルーシー
ドドドドド
『船を見つけてそれに乗れ!』
ドドドドド

「遺体」は……

暖炉の部屋でルーシー・スティールの中へ入った「聖なる遺体」は

全てをそろえたこの わたしを選んでくれた!!

「遺体」は

このヴァレンタインの事を好いてくれている!!

この世界でわたしのために動いてくれているッ!!

ルーシーの体を通じて発動している遺体の新しいスタンド能力もわたしの味方だ

ドドドドド
ああ
あああ
ああああ
こ…声は
こ…こいつっ!!
良く来たぞ
ルーシー・スティール
誰にも
気づかれていない
おまえを探せる者も
これで誰もいない!
おまえから
「生まれる者」のため
……………船に乗れ
…最後の土地へ
向かおう……
「地図」の
最終地点へ
18涙の乗車券(完)

ゴージャス☆アイリン 荒木飛呂彦短編集
●ジャンプスーパーコミックス 新書判 全1巻
代々、殺人教育を受け継ぐ家の血をひき、メイクによって人格が変わる美しき殺し屋アイリンのハイパー・アクション。表題作他「魔少年ビーティー」「バージニアによろしく」そしてデビュー作「武装ポーカー」を収録。
●愛蔵版 A5判 全1巻
15年ぶりに描かれた「ゴージャス☆アイリン」のピンナップを収録。さらに、幻の初期短編「アウトロー・マン」をデジタル復刻掲載！「死刑執行中脱獄進行中」と対をなす箱入り豪華装丁で登場！
死刑執行中脱獄進行中
●愛蔵版 A5判 全1巻
ある囚人が投獄されたのは死刑執行のための部屋だった…！ 衝撃の表題作をはじめ、JOJO第4部の敵・吉良吉影のその後を描いた「デッドマンズQ」「ドルチ」「岸辺露伴は動かない」を収録。
HIROHIKO ARAKI PRESENTS
変人偏屈列伝
荒木飛呂彦＋鬼窪浩久
●愛蔵版 A5判 全1巻
異能の大リーガー、天才発明家、稀代の興行師、悲運の賄い婦、究極のひきこもり兄弟、生涯館を増築し続けた未亡人…。社会的制圧にも屈せず、己の信念を貫き通した愛すべき変人偏屈たち！ハードカバー、箱入り超豪華装丁！

■ジャンプ・コミックス

STEEL BALL RUN

⑱涙の乗車券（チケット・トゥ・ライド）

2009年7月8日　第1刷発行

著者　荒木飛呂彦

編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　鳥嶋和彦

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(3230)6236(編集部)
03(3230)6191(販売部)
03(3230)6076(読者係)

Printed in Japan

印刷所　中央精版印刷株式会社

ISBN978-4-08-874725-5 C9979